

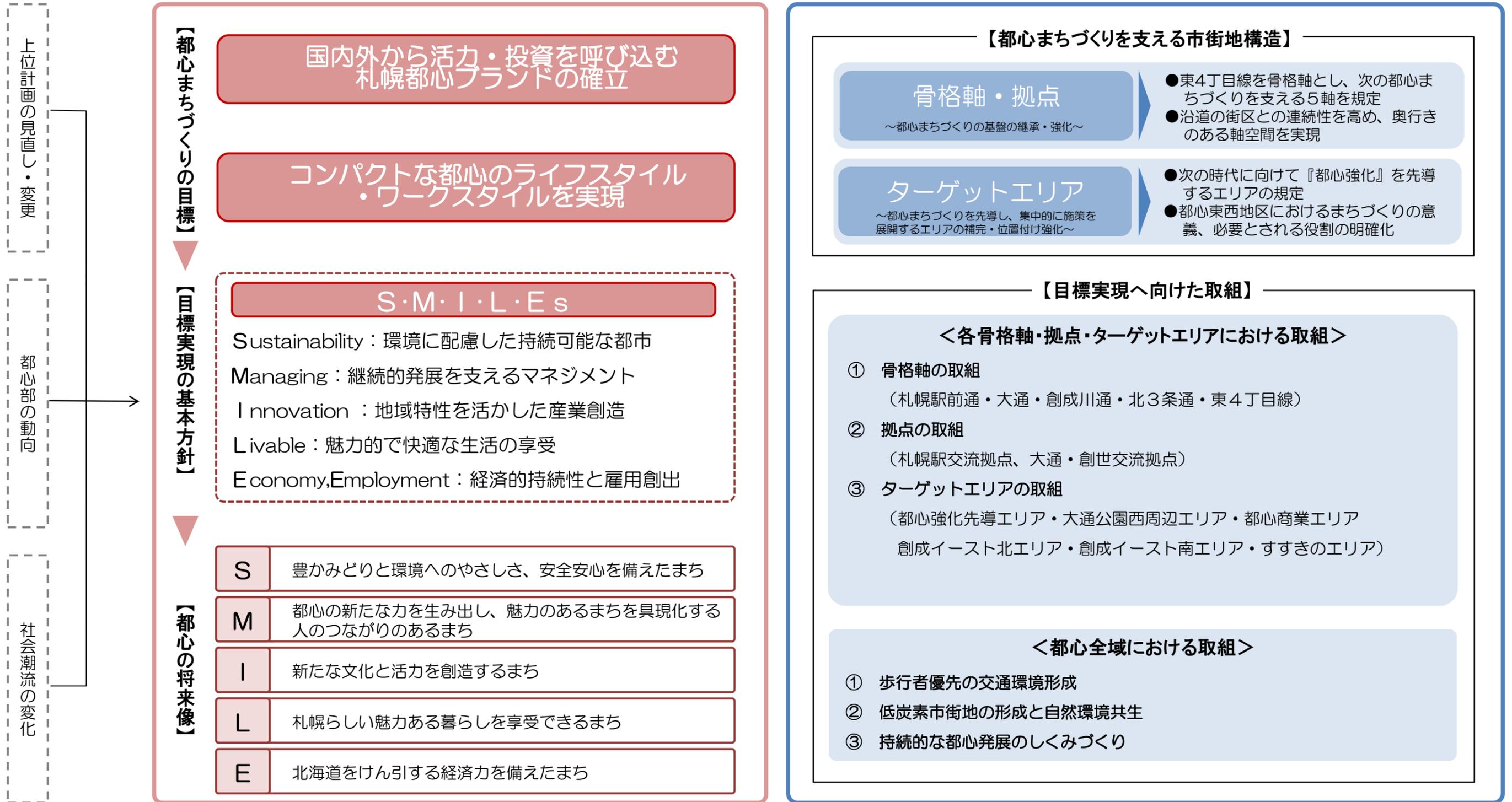
都心まちづくり計画 計画素案 (未定稿)

| | |
|-------------------------------------|----|
| 1. 目的と位置づけ | |
| 1-1 都心まちづくり計画の構成 | 1 |
| 1-2 都心まちづくり計画策定の目的 | 2 |
| 1-3 これまでの経緯 | 2 |
| 1-4 都心まちづくり計画の位置づけ | 3 |
| 1-5 都心まちづくり計画策定の視点 | 3 |
| 2. 都心まちづくりの基本目標 | |
| 2-1 都心まちづくりの目標と基本方針 | 4 |
| 2-2 目指すべき将来像 | 5 |
| 3. 都心の骨格構造 | |
| 3-1 都心まちづくりを支える市街地の構造 | 6 |
| 3-2 都心のまちづくりを支える空間形成の視点 | 7 |
| 3-3 都心の骨格軸と拠点 | 8 |
| 3-4 ターゲットエリア | 9 |
| 4. 骨格軸・拠点・ターゲットエリアにおける取組 | |
| 4-1 骨格軸における取組 | 11 |
| 4-2 拠点における取組 | 12 |
| 4-3 ターゲットエリアにおける取組 | 13 |
| 4-3-1 都心強化先導エリア | 13 |
| 4-3-2 大通公園西周辺エリア | 14 |
| 4-3-3 都心商業エリア | 15 |
| 4-3-4 創成東地区 (創成イースト北エリア・創成イースト南エリア) | 16 |
| 4-3-5 すすきのエリア | 16 |
| 5. 都心全域における取組 | |
| 5-1 歩行者優先の交通環境形成 | 18 |
| 5-2 低炭素市街地の形成と自然環境共生 | 19 |
| 5-3 持続可能な都心発展のしくみづくり | 20 |
| 参考1 都心の土地利用ゾーニング (都市計画マスタープランより) | 21 |
| 参考2 都心の魅力・ポテンシャル | 22 |

1. 目的と位置づけ

1-1. 都心まちづくり計画の構成

約400haに及び都心部の持続的な成長を支える基本的な考え方や骨格構造を示すとともに、今後20年を視野に、効果的な施策展開を行う力点（エリア・戦略・指針・プログラム）を明確化することで、関係者の合意形成を図り、まちづくりの機運や計画熟度の異なる開発、個別更新、多様なまちづくり活動の適切な誘導を図りながら長期的にまちづくりを進め、目標の実現を目指していく。



1. 目的と位置づけ

1-2. 都心まちづくり計画策定の目的

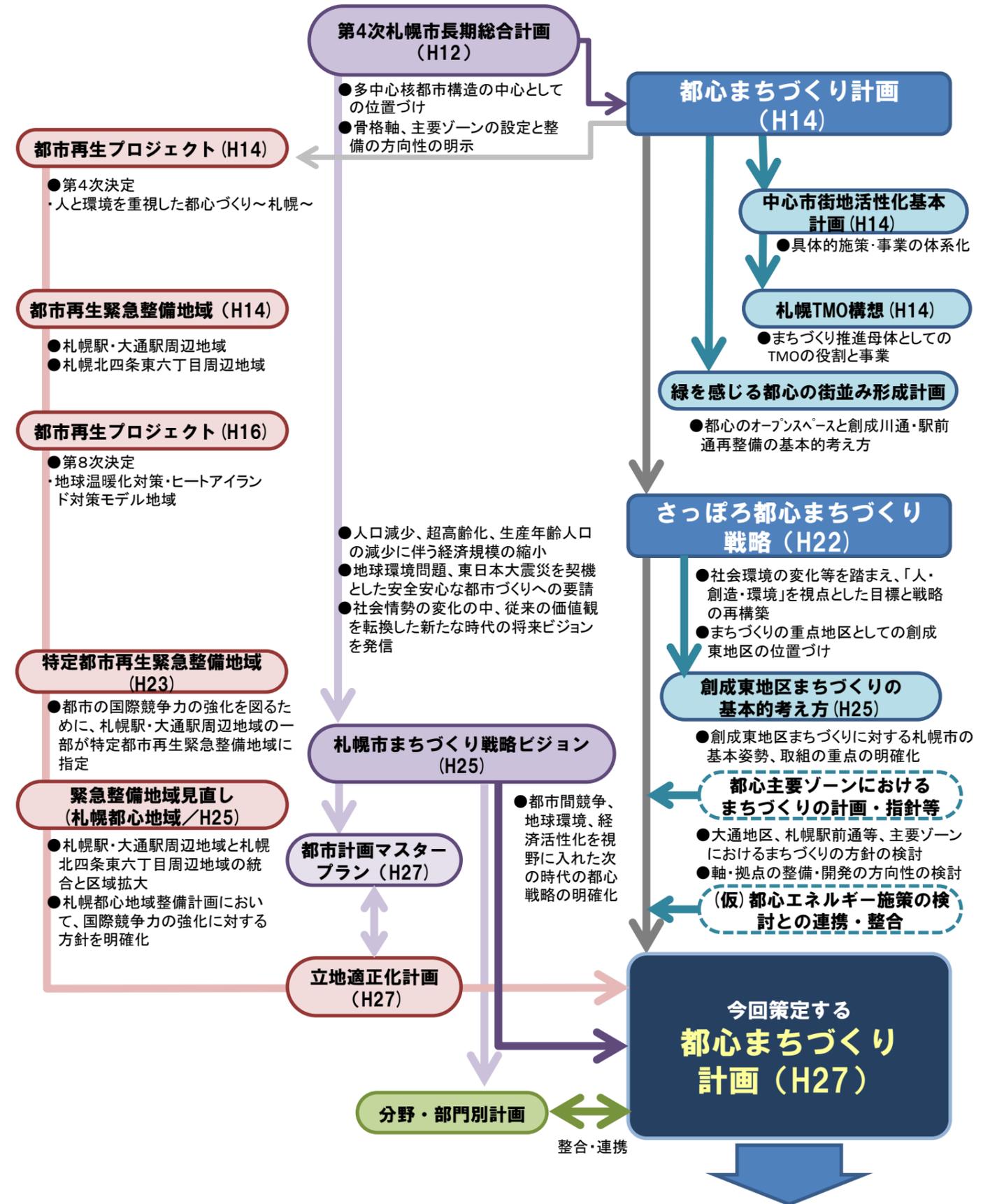
札幌市では、「第4次長期総合計画」（平成12年）において多中心核都市構造を構成する最も中心的な拠点である都心のまちづくりの具体化を図るため、「都心まちづくり計画」（平成14年）を策定しました。その後、都心を取り巻く社会潮流の変化に対応するために、都心まちづくり計画の後半10年間に補完する「さっぽろ都心まちづくり戦略」（平成23年）を策定し、都心まちづくり施策に取り組んでいるところです。

しかしながら、人口減少や少子高齢化の急速な進展、東日本大震災以降のエネルギーや都市防災に対する考え方の変化等に対応し、長期総合計画に代わる新たなまちづくりの指針として、「札幌市まちづくり戦略ビジョン（平成25年）」を策定し、持続可能な集約連携都市や環境低負荷型都市の実現に向けた都市構造への再構築のあり方を位置づけました。これに伴い、都市計画の基本方針である「札幌市都市計画マスタープラン」等の見直しを進めていることから、都心まちづくりについても時代の変化に対応した、集約型の都市を支える「交通」や環境負荷の低減に欠かせない「エネルギー」の視点等を新たに取り入れることが求められています。

また、人口減少、超高齢社会に対応し、北海道、札幌の経済的持続可能性を支える「道都さっぽろ」の中核として、都心が北海道をけん引し、まちづくりを通して、国内外の投資を誘引するような、世界が目を向ける成長戦略を発信することが求められています。

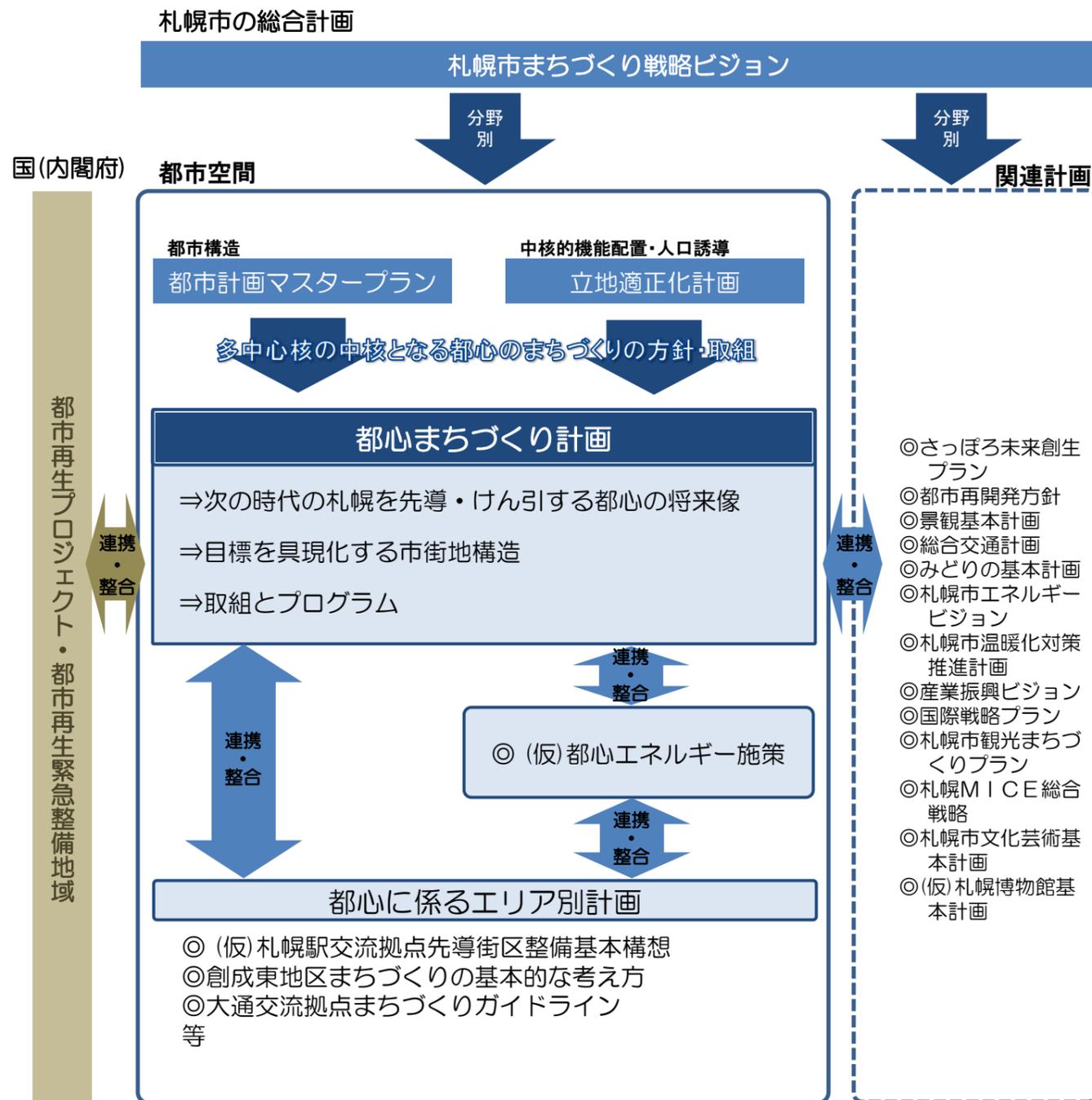
以上のことから、今後20年間の都心まちづくりの指標となる計画を策定するものであります。

1-3. これまでの経緯



1. 目的と位置づけ

1-4. 都心まちづくり計画の位置づけ



1-5. 都心まちづくり計画策定の視点

◆札幌・都心を取り巻く環境の変化に対応した、次の都心まちづくり計画策定の必要性

都市を取り巻く環境変化への対応

- 人口減少・超高齢化社会の現実化
- 生産年齢人口の減少に伴う経済活力の低下
- 世界的な低炭素社会への移行の必要性
- 災害に強い都市づくりに対する社会的要請
- 成熟社会への対応（コンパクトな都市形成）

都心まちづくりを支える上位計画等との整合

- 札幌市まちづくり戦略ビジョン
- 都市計画マスタープラン・立地適正化計画
- 都市再開発方針の見直し
- (仮)都心エネルギー施策

外的な変化への対応

- 都市間競争への対応（札幌の強みを活かした都市戦略構築の必要性の顕在化）
- 他都市に比肩する広域交通アクセス強化の必要性への認識

新たな機運を捉えた次の展開の明確化

- 現行都心まちづくり計画・まちづくり戦略に基づく成果
- 都市再生を先導する都市開発、環境共生型まちづくりの促進
- 二つのまちづくり会社による事業展開
- 創成東地区のまちづくり機運の高まり
- 北海道新幹線の札幌延伸・冬季オリンピック誘致の動き

◆次の都心まちづくり計画見直しの視点

世界が目を向ける成長戦略の発信

- 札幌が取り組むまちづくりへの姿勢を発信し、存在感を向上
- 札幌立地・気候・都市構造等の優位性を活かした都心強化の推進
- まちづくりを通じて国内外の投資を誘引する魅力・都市個性を強化

札幌の風土・気候を活かしたライフスタイルの提案

- 身近な自然と高次な都市機能が共存した札幌固有の環境を享受できる、誰もが憧れる暮らしの場の創造

北海道・札幌の持続可能性を先導する都心の強化

- 北海道、札幌の経済的持続可能性を支える『道都さっぽろ』の中核としての都心のけん引力・発信力の発揮

まちづくりの実効性を高める連携・協働を提案

- 都心まちづくりの実行性、持続性を支える多主体連携によるまちづくり推進体制の実現
- 民間活力を引き出し、高める支援のあり方の明確化

2. 都心まちづくりの基本目標

2-1. 都心まちづくりの目標と基本方針

～札幌市まちづくり戦略ビジョン～

北海道の未来を創造し、世界が
憧れるまち

札幌・北海道の様々な魅力資源を、一人一人の創造性によって、より磨き上げながら、それを国内及び世界に発信することで、世界との結び付きを強め、投資や人材を呼び込むなど、世界が憧れ、活力と躍動感にあふれる、心ときめくまちを実現

互いに手を携え、心豊かにつな
がる共生のまち

誰もが生きがいと誇りを持ちながら、互いにつながり、支え合うことで、生きる喜びと幸せを感じられる、心豊かで笑顔になれるまちを実現

目標

国内外から活力・投資を呼び込む札幌都心ブランドの確立

～札幌の活力を象徴する機能が高度に集積した都心の特性を踏まえ、今後の札幌の経済をけん引し、都市としての持続可能性と活力を高めるため、国内外からの投資を呼び込み、世界を惹きつける魅力・先進性を備えた都心づくりを進めます。

コンパクトな都心のライフスタイル・ワークスタイルを実現

～集約連携都市の中核として、日常的に市民が訪れ、豊かな時間消費を支える場を創出するとともに、働く場として利便性・快適性の高い高次な機能と空間を備え、コンパクトな札幌らしいライフスタイル・ワークスタイルを享受できる都心づくりを進めます。

上位計画である都市計画マスタープランに定めるまちづくりの理念を踏襲し、都心まちづくりの二つの目標の実現のための基本方針として、以下の5つの視点を定める

■目標実現のための基本方針■

S

“Sustainability”

世界をけん引する環境配慮型のモデル地区形成

- 環境首都さっぽろを象徴する都心のグリーンビルディング化の推進
- 積雪寒冷地の特性を捉え環境に配慮したエネルギーネットワークの強化・拡充
- 都市と自然の共生環境を高める都心のみどりの空間保全・強化

M

“Managing”

継続的發展を支える民間活力の活用と柔軟なマネジメント体制の構築

- 都心まちづくりを戦略的に推進する多主体連携型のプラットフォームの構築
- 基本方針に基づくまちづくりの推進・実現を支えるプロジェクトの創発・展開
- 地区特性に応じたきめ細やかなマネジメントを支える仕組み・手法の積極的活用

I

“Innovation”

北海道・札幌の特性・知恵を活かした魅力ある都市観光の展開と産業の創造

- 北海道・札幌の魅力を集約・発信する都市観光の強化
- 既存のストック強化・再生を通じた札幌型のMICEを支える中核的な機能の向上
- 積雪地・北方都市の有する多様な技術を活かした産業創造を支える都心のビジネス環境の強化

L

“Livable”

人々を惹きつける魅力と快適性を兼ね備えた都心ライフの受け皿形成

- 都心における人を中心とした移動手段の多様化による回遊・交流環境の向上
- 集約連携都市を先導し、多様性を受け入れる居住環境の形成
- 市民のパブリックライフを豊かにする交流の場、創造の場の形成による魅力の向上

Es

“Economy, Employment”

国内外の投資誘引による札幌の経済的持続性、活発な雇用環境の創出

- 国内外の投資誘引による老朽ストックの更新・高度利用化
- 災害に強いエネルギーネットワークをはじめとする先進的な取り組みを通じた不動産価値の向上
- 経済活性化をけん引する人材の誘因、企業立地の促進を通じた雇用環境の向上

2. 都心まちづくりの基本目標

2-2. 目指すべき将来像

都心まちづくりの5つの基本方針による都心のまちづくりを推進することにより、以下に示す都心の将来像の実現を目指します。

都心まちづくりの5つの基本方針 ～S・M・I・L・Es～

豊かみどりと環境へのやさしさ、安全安心を備えたまち

「まちなかにおける豊かなみどりの創出」、「公共交通の充実」や「環境負荷の少なく災害に強いエネルギーシステムの形成」を図るとともに、交流空間の拡充を進めるなど、美しい街並みの創出と環境負荷が低く、高い防災力を備えた都市システムの創造に向けた取組を進め、持続可能な次世代に受け継がれる都市を目指します。

北海道をけん引する経済力を備えたまち

札幌がその特性を活かしたまちの持続性を実現する上では、道都さっぽろとして、北海道を象徴し、けん引する活力を備えていくことが重要です。札幌都心はそのけん引力を発揮する中核としての経済活力を発揮することを目指します。また、人々が生き活きと生きがいを持って働くことができる就業環境と、新たな取り組みにチャレンジできる起業機会を見出せる場となることを目指します。

都心の新たな力を生み出し、魅力のあるまちを具現化する人のつながりのあるまち

札幌都心が、世界が憧れるまち札幌の中核として国内外に向けてその可能性、挑戦を発信し、共感を得ながらまちの活力を高めていく、さらに札幌市民が都心をより身近で日常的にまちの魅力を楽しむ環境を備えていくために、まちを動かす人のつながりと仕組みを実現します。

札幌らしい魅力ある暮らしを享受できるまち

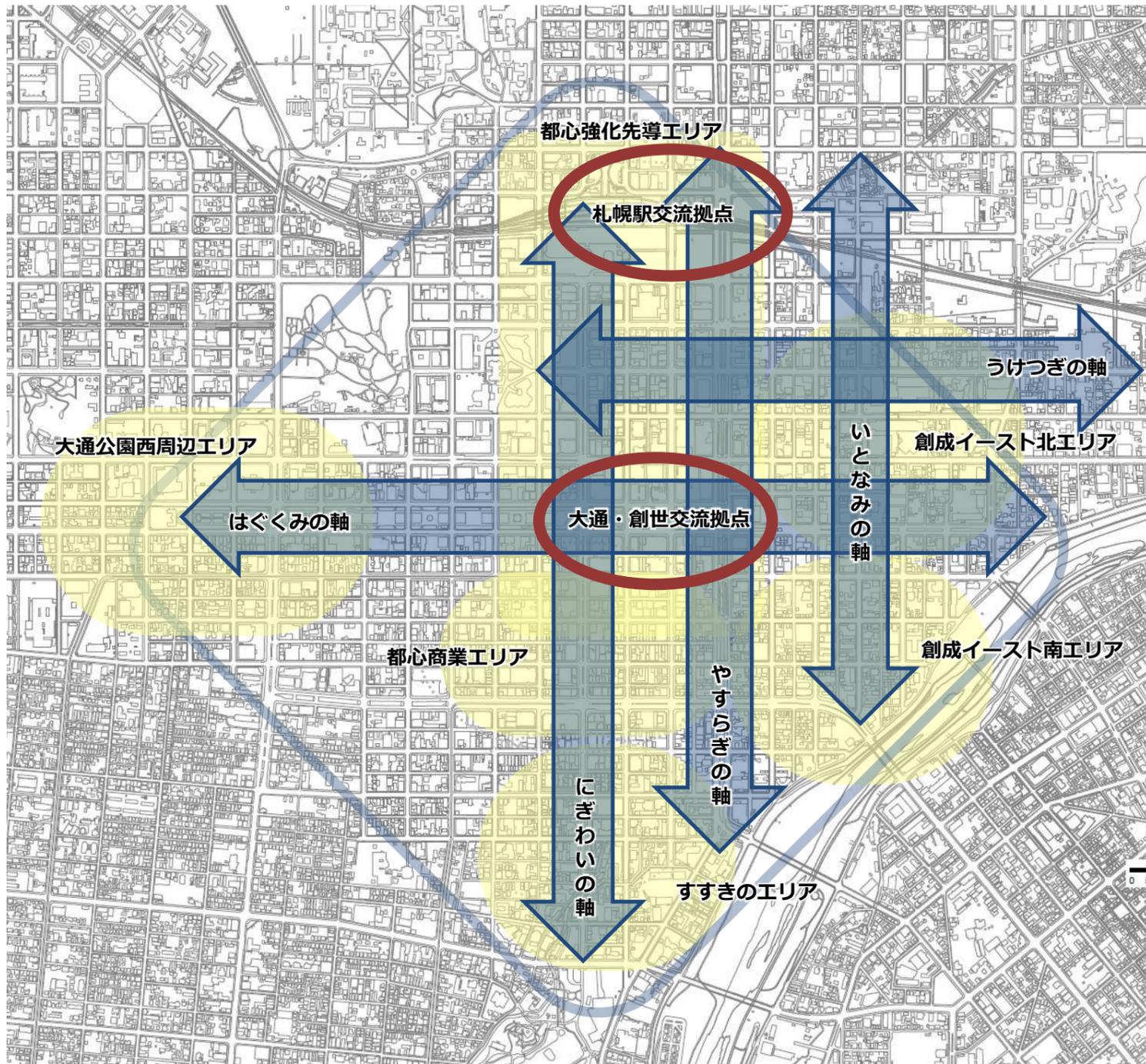
都心へのニーズの多様化に対応するためには、さまざまな人々の価値観に答え得る、魅力的で質の高い空間づくりを進めることが重要となります。人を中心とした空間を形成するとともに、さまざまな用途や機能を組み込むことにより、多くの人々が集い、多様な活動が可能となるような場の実現を目指します。

新たな文化と活力を創造するまち

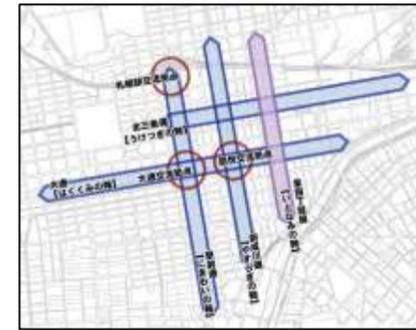
「創造性を誘発する場の形成」や「創造的な活動の担い手の育成」に向けた取組を進め、創造性に富む市民が暮らし、外部との交流によって生み出された知恵が新しい産業や文化を育み、絶えず新しいコト・モノ・情報を発信していく「創造都市」の実現を目指します。

3. 都心の骨格構造

3-1. 都心まちづくりを支える市街地の構造



骨格構造



- チカホ、創成川連続アンダーパス化等、骨格軸における基盤整備は概成
- 公共投資の付加価値を高めるための沿道の民間誘導により一体的な軸形成が必要
- 東4丁目線の都市軸としての新たな役割・位置づけの明確化
- 3つの交流拠点における再開発等の進展
- 周辺のまちづくり動向との連携を視野に入れ、より高い拠点性を発揮するための拠点間の連鎖や領域拡充の必要性

継承・発展

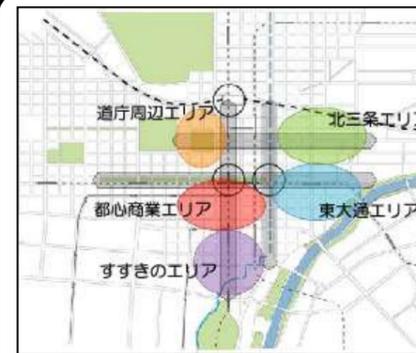
骨格軸

- ◎既存の5軸の理念を継承し、沿道街区の開発・更新との連携を高め、奥行きのある骨格軸へと進化
- ◎人々の回遊の基軸としての安全・安心・円滑な移動を支える機能・空間を強化
- ◎ゾーン間の連続性を高め、各ゾーンにおける取組の相乗効果を発揮

交流拠点

- ◎機能誘導の方向性を踏まえ、都心の二つの将来像を象徴的に具現化
- ◎既存の3つの交流拠点の骨格軸を介した連鎖、領域の拡充による機能の高度化
- ◎現行の交流拠点周辺の民間動向を踏まえ、連鎖性・波及性を発揮

ターゲットエリア



- 都市再生を先導する官民連携型都市開発の具現化
- 骨格軸と一体的な都市空間形成による都心まちづくりのモデル形成
- 骨格軸を介した地上地下の重層的な回遊空間の形成と、エネルギーネットワークの展開
- 都心商業エリアにおける新たなビジョンづくり
- 北三条エリアにおける都市再生の推進
- 東大通における地域主体のまちづくり活動
- 安全安心な歓楽街づくりに向けた検討

～ターゲットエリア見直しの視点～

- 視点-1 骨格軸、重要なパブリックスペースとの関係性の深いエリア
- 視点-2 顕在化している都市開発動向を中核とした一体性のあるエリア
- 視点-3 エリアに関わりのある主体によるまちづくり活動の展開エリア
- 視点-4 開発余地・更新すべきストックの集積が確認できるエリア
- 視点-5 市民の日常的な利用、アクセスが活発なエリア
- 視点-6 関連する計画・施策において重点的な取組が想定されるエリア

都心強化に資する取組の連鎖が見込まれるエリア設定

- ◎官民連携プロジェクト動向を踏まえた連鎖的展開・将来的波及性を勘案したエリアを重点的に位置づけ
- ◎都心エネルギー施策等、エリア横断的に都心の付加価値を高める取組との連携を視野に入れた取組エリアの明確化

都心東西エリアの明確化

- ◎「創成東地区のまちづくりの基本的考え方」に基づく取組の方向性を都心まちづくり計画に位置づけ
- ◎西11丁目周辺を、既存の機能集積を活かした取組を進める新たなターゲットエリアとして位置づけ

既存エリアの強化

- ◎都心商業地区をはじめとする既存ターゲットエリアにおける検討の成果を踏まえた、これからのエリア像を明確化

3. 都心の骨格構造

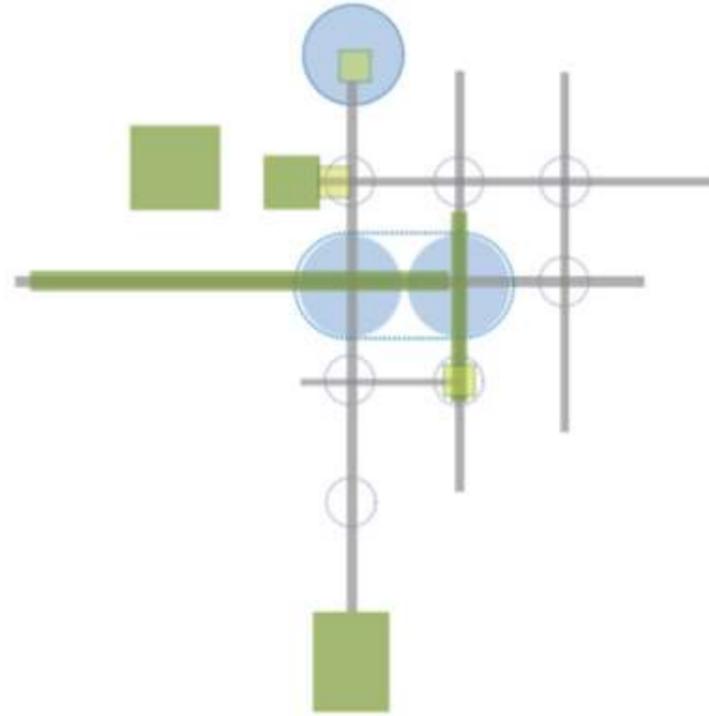
3-2. 都心のまちづくりを支える空間形成の視点

骨格軸・拠点、ターゲットエリアからなる都心の市街地形成に係る基本構造に加え、都心全域において、界わい性・奥行きのあるきめ細やかな空間形成を図り、その連鎖性によって多様な活動の選択性と魅力を生むことが、都心の価値を高める上では重要となる。その展開に際しては、以下の3つの観点から空間形成の方向性を定めることとする。

視点① 交流空間の創出

主に、回遊の基軸となる骨格軸の結節点は、市民、来街者が都心における多様なアクティビティに触れ、都心のにぎわい・活力を体感できる空間を創造し、これらを「拠点的な交流空間」として位置付ける。

また、大通公園を始めとする象徴性のあるパブリックスペース、現在の交流拠点は「骨格的な交流空間」としての役割を併せ持ち、拠点的な交流空間や骨格軸を介して連鎖・ネットワークし、新たな回遊、交流を創出する。



視点② 地上・地下の重層的ネットワークの形成

積雪地札幌の四季を通じた安全・快適な回遊を支える空間である地下空間ネットワークを活かし、かつ地上部の回遊空間の充実を図りながら空間の選択性を高め、公共施設、民間施設における重層的かつ多様な地上地下のネットワークを強化・拡充する。

さらに前述の交流空間の形成と併せて回遊の結節点における四季を問わない滞留・交流の場づくりを図りながら、重層的ネットワークとの連携性を高め、質の高い、札幌らしい公共空間の創出を図る。

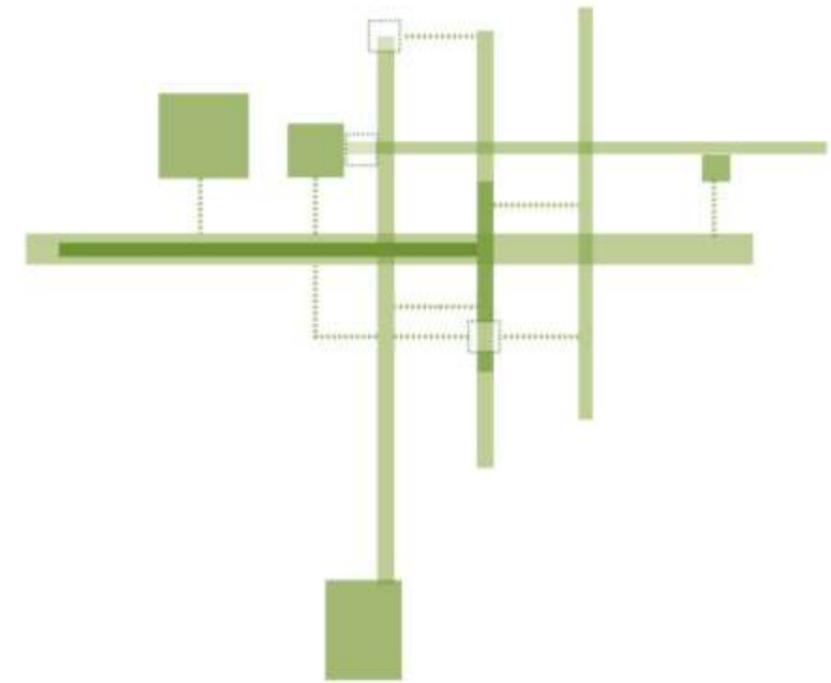


視点③

界わい性を生むパブリックスペースのネットワーク形成

骨格軸から派生する回遊空間を創出し、まちの奥行きを演出するため、中通や屋内外の通路、建物間通路など多様な歩行者動線を配置・活用して、パブリックスペースのきめ細かなネットワークにより、界わい性のある都市空間を形成する。

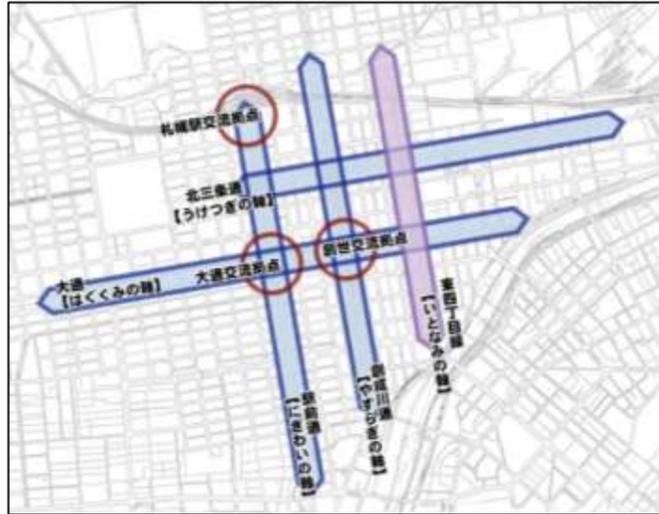
その際、公共的機能を持つ施設や広場的空間への行きやすさの確保に配慮する。



3. 都心の骨格構造

3-3. 都心の骨格軸と拠点

『4骨格軸-1展開軸-3交流拠点』から
『5骨格軸-2拠点』へ



4つの骨格軸の概成

沿道街区を含めた奥行きのある
骨格軸形成の展開

- 駅前通・創成川通への都市基盤整備
- 沿道開発による骨格軸との連鎖性の高い空間創出モデルの実現
- 北3条通の再整備
- 公園の活用とみどりの保全の方向性の検討

創成東地区まちづくりの構想

展開軸から骨格軸への格上げ

- 東4丁目線の基軸としての位置づけの共有（まちづくりの基本的考え方）
- 道路空間の課題解消の必要性

札幌駅交流拠点の概成

札幌駅交流拠点の拡充・機能強化

- 札幌駅交流拠点の集客交流機能の強化
- 北海道新幹線等、広域交通結節点機能強化の必要性
- 交流拠点周辺の低炭素型開発の進展

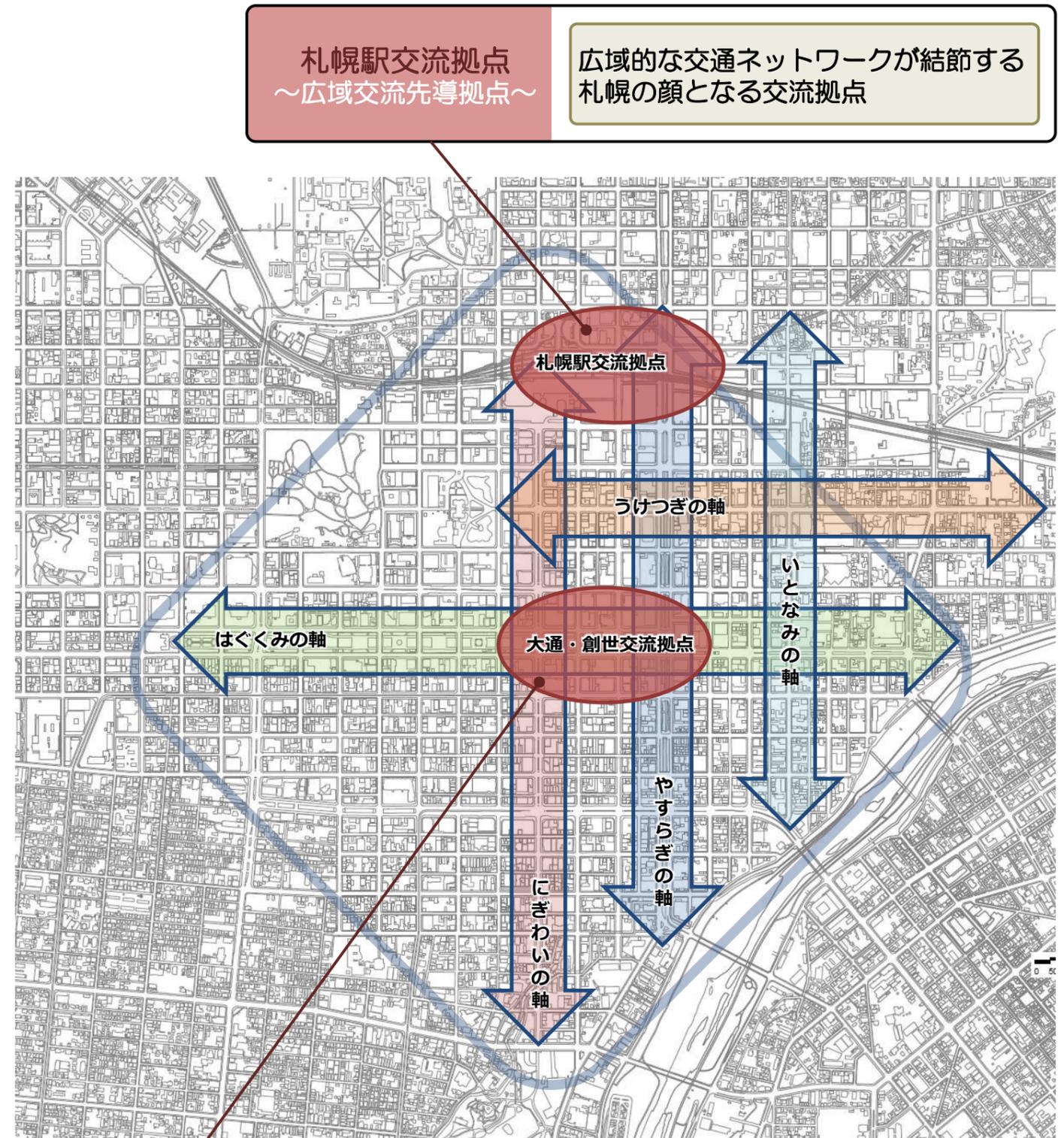
大通交流拠点の概成と 創世交流拠点整備の促進

大通、創世交流拠点の連鎖・連携

- 北1西1街区における市街地再開発の推進
- 周辺の公共用地等の再活用の必要性
- 大通交流拠点における民間都市開発の展開
- 2交流拠点周辺の施設更新の必要性

5骨格軸
における
まちづくりの
展開

都心まちづく
りを象徴する
2拠点への強
化・拡充



札幌駅交流拠点
～広域交流先導拠点～

広域的な交通ネットワークが結節する
札幌の顔となる交流拠点

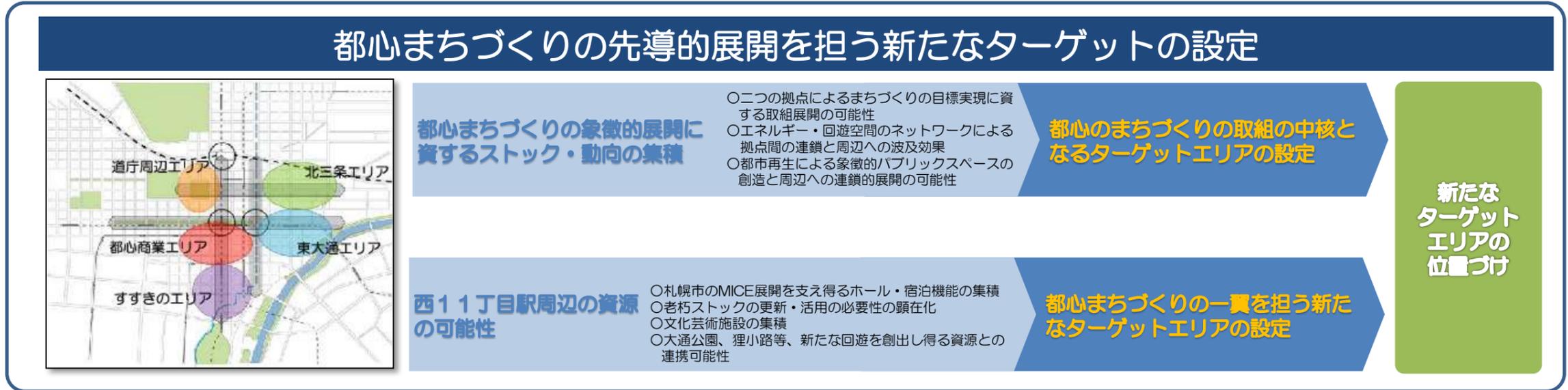
大通・創世
交流拠点
～都市文化創造拠点～

市民の都心における日常的な憩い・
活動を表出し、来街者が札幌のライ
フスタイル・文化を体感できる交流
拠点

3. 都心の骨格構造

3-4. ターゲットエリア

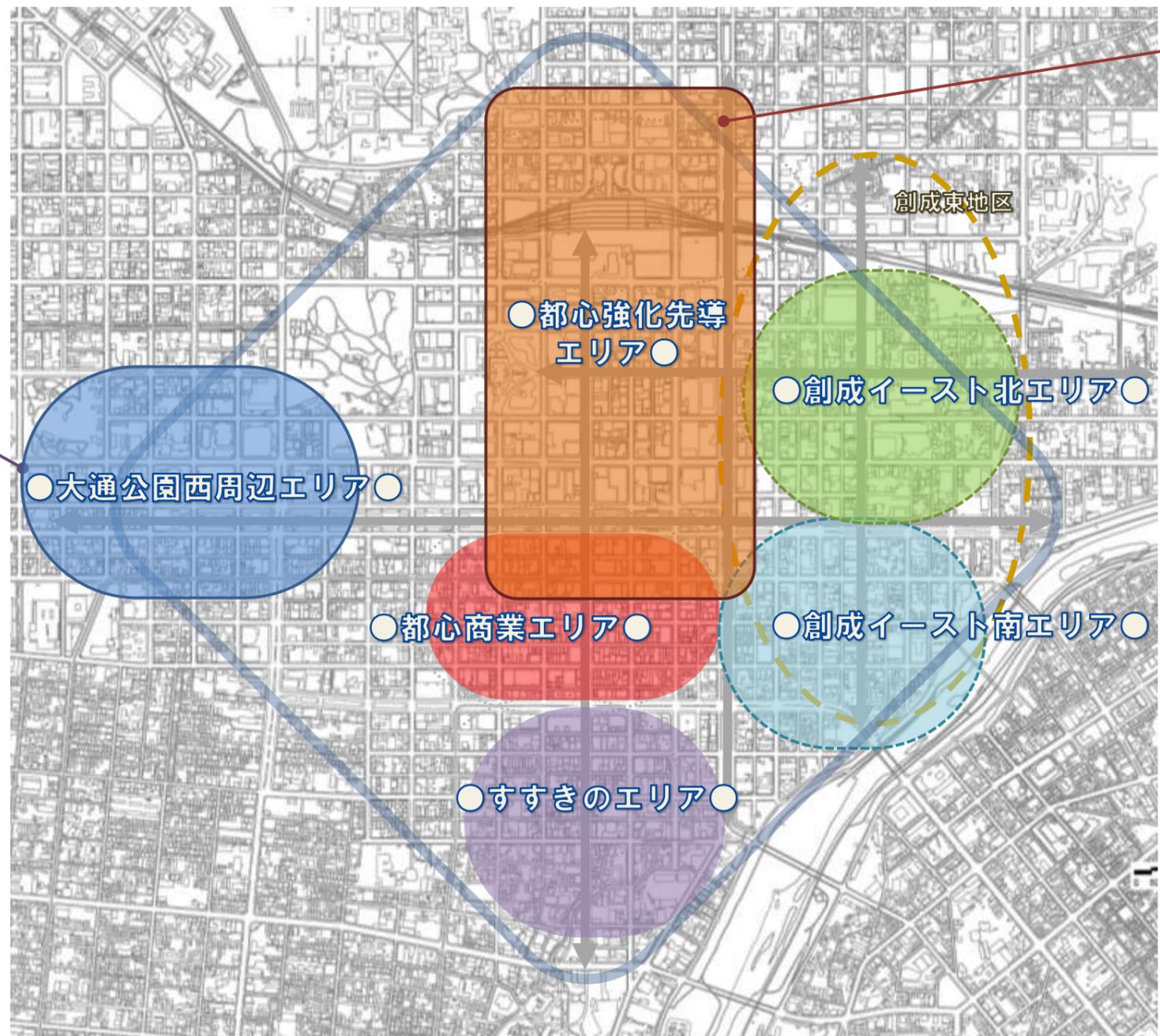
3-4-1. 新たなターゲットエリアの設定



大通公園西周辺エリア

～都心西部エリアの育成をめざし、既存のホール、ホテル等の交流施設、美術館をはじめとする文化芸術施設を活用したまちづくりの展開エリアの設定～

- ◎西11丁目周辺におけるホールやホテル等をはじめとする交流施設を活かし、札幌都心型のMICEの促進に資するエリア
- ◎近代美術館を中心とした文化芸術施設資料館や知事公館等、札幌の歴史性・自然性を体感できる施設を都市観光等へ活用
- ◎エリア南側の狸小路における界隈性を感じる街並みとの連携を視野に入れ、都市観光、MICEへの活用を推進可能なエリアとして設定



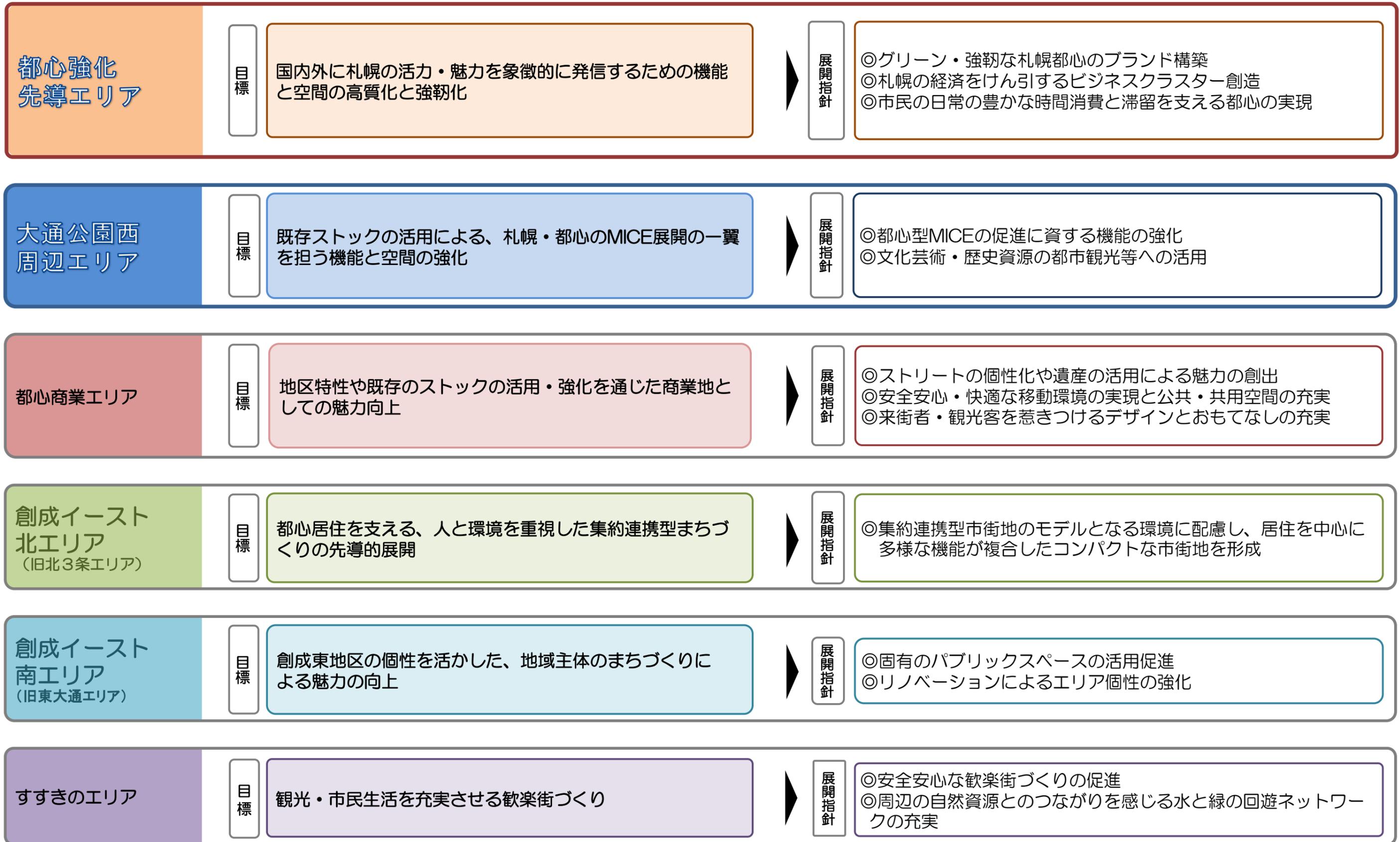
都心強化先導エリア

～都心まちづくりの目標実現を強力かつ連鎖的に推進し、世界と市民に向けて都心像を発信するエリアの設定～

- ◎地上地下空間、エネルギー等の都市基盤ストックを最大活用し、投資誘発、経済活性化、市民活動の充実を目指すエリア
- ◎まちづくりの核となる二つの拠点の都市軸を介した相互連携、相乗効果を生み、エリア横断的な都心の価値向上を目指すエリア
- ◎官民の都市開発動向を視野に入れ、都市再生を緊急かつ重点的に推進すべき地域である都市再生緊急整備地域の一部上記を考慮してエリアを規定

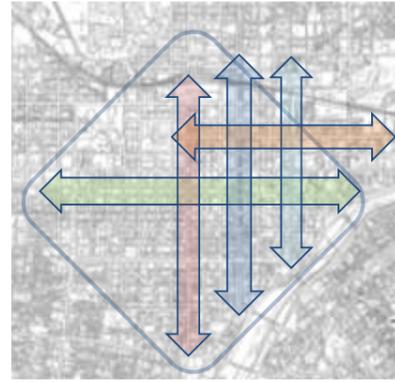
3. 都心の骨格構造

3-4-2. ターゲットエリアの目標・展開指針



4. 骨格軸・拠点・ターゲットエリアにおける取組

4-1. 骨格軸における取組



にぎわいの軸 ～札幌駅前通～

～国内外に札幌の活力・魅力を発信する沿道の機能・空間の高質化と強靱化によるにぎわい強化～

S M I L E

まちづくりの取組

象徴的な軸空間の形成

- 札幌の玄関口からつながる目抜き通りとして、北海道・札幌らしい自然の潤いと活力・にぎわいを体感できる沿道の街並みを備えた軸空間の形成
- 都心強化エリア、都心商業エリア、すすきのエリアを貫く南北の骨格軸として、まちづくり会社等との連携から、エリア特性に応じた低層部への機能誘導を促進し、地区個性を発信

多様なネットワークの形成

- 既存インフラを活用し、沿道ビルの開発・更新に併せ、札幌の低炭素型市街地の具現化に資する都心部エネルギーネットワークを展開
- 札幌駅からつながる地上地下の歩行者空間を中心に沿道ビルとの接続を促進し、四季を通じて快適に移動できる重層的な回遊ネットワークを強化

はぐくみの軸 ～大通～

～都心のみどりの主要な軸としての潤いと、市民の活動を支える賑わい環境の共生とはぐくみの推進～

S I L

まちづくりの取組

骨格軸の強化

- 大通公園を中心に南北の両街区とのパブリックスペースや回遊空間、みどりの連続性を生み出し、都市軸としての象徴性をより強力に具現化

みどりの維持・保全

- 都心の主要なみどりの軸として、市民・来街者の憩い・交流を支える緑陰のある空間を維持・保全
- 周辺の土地利用に応じて、みどりと活用空間のメリハリのある大通公園の姿を検討

東西市街地の連携強化

- 西11丁目周辺エリアと創成東地区を結ぶ東西軸として、両エリアに固有の歴史・文化・集客資源等への人々の流動を生み出す回遊性の高い移動空間を強化
- 土地利用更新等を通じたみどりの強化、回遊空間の強化に伴い、創成川以西・以東の連続性を向上

やすらぎの軸 ～創成川通～

～広域からの都心アクセスを支えるとともに、豊かな環境を活かした市民のやすらぎを創出～

S M L

まちづくりの取組

広域ネットワーク機能の強化

- 都心の骨格軸であるとともに、札幌の広域的なネットワークの一翼を担う幹線道路として、交通の円滑化を向上

都心東西市街地の連続性強化

- 水辺環境と呼応する良質で落ち着きのある回遊環境の活用
- 骨格軸沿道の機能・空間の強化により人々の流動を生み出し、都心東西市街の分断要素から、連携軸としての空間的・質的転換を促進

うけつぎの軸 ～北3条通～

～札幌発展の歴史・文化をうけつぎ、まちづくりを通じて都心東西をつなぐ連携を推進～

S L E

まちづくりの取組

歴史を活かした街並み形成の推進

- 札幌開拓の歴史を伝え、未来に継承する軸として、沿道の歴史資源と一体的な街並み形成を促進
- 道庁赤レンガから連続し、通りのイメージを象徴する素材の活用、沿道の建替え更新時への導入を促進し、通りの一体性を強化

北三条広場を起点とする広場空間の連鎖

- 都心東西を結ぶ軸として、軸上に点在する広場等の資源を活かした活動を展開
- 軸周辺の既存の歴史的資源や市街地再開発等の動向と連携した滞留空間・交流の創出により、奥行きのある軸空間を形成

いとなみの軸 ～東4丁目通～

～創成東地区の職・住・遊を支える多様な機能が複合の促進とコミュニティのいとなみの表出～

M L E

まちづくりの取組

骨格軸としての空間・機能強化

- 創成東地区のコミュニティや来街者の安全安心かつ快適な移動空間を実現
- 通りの課題である線形を解消し、沿道と一体的な街並み形成、機能誘導を図り、創成東地区まちづくりの基軸に相応しい空間形成を推進

まちづくりへの通りの活用

- 弾力的な道路空間の活用によりまちの中心軸として、コミュニティ活動・まちづくり活動が表出する街並み形成を推進
- エリアマネジメントとの連携から、リノベーション等を通じて地区の魅力を高める起業環境の形成を図り、営みの見える通りづくりを推進

4. 骨格軸・拠点・ターゲットエリアにおける取組

4-2. 拠点における取組

都市間競争における優位性を発揮しうる都市基盤、機能集積を活かし、都心の価値・活力を高める取組を集中的に展開する【都心強化先導エリア】における取組を進めるとともに、こうした都心の魅力と活力をより象徴的・先導的に具現化し、都心まちづくりの目標の実現に資する取組を展開する場としての二つの拠点において、官民連携のまちづくりを強力に推進します。

① 現行計画における3つの『交流拠点』の連鎖・拡充

都心まちづくり計画において、都心における多様な機能・活動等の集積が見込まれる骨格軸の交点、並びに交通結節点を都心の骨格構造を形成する『交流拠点』として位置づけた。

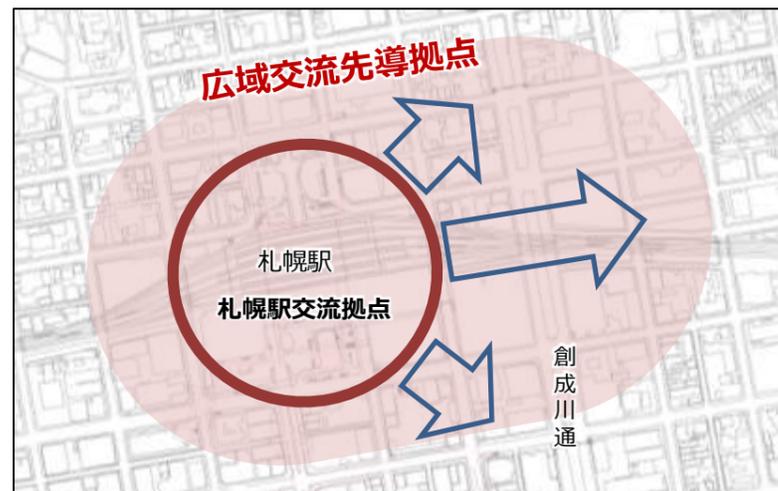
今日、その整備が概成あるいは、再開発等の動向が顕在化し、交流拠点の空間像が具現化しつつある中、次の時代の都心まちづくりをけん引する『拠点』として、交流拠点の立地性、周辺の都市開発動向、既存ストックの状況等を踏まえ、これらの交流拠点の役割・機能を一層強化することが求められる。

② 札幌駅交流拠点（広域交流先導拠点）における取組

S L E

【広域交流先導拠点】の役割

- これまでの札幌駅交流拠点をベースに、北海道新幹線札幌延伸や都心と高速道路間へのアクセス強化等、広域ネットワークの強化動向を視野に入れた交通結節点機能強化のためのエリアの拡充
- 既存のエネルギーネットワークの将来的な強化・拡充を視野に入れた拡充
- 札幌の顔となる機能・空間の強化をめざし、公共空間の連鎖、創成東地区との結びつきの強化等を実現する拡充



まちづくりの展開指針

- ◎北海道新幹線の札幌延伸、都心と高速道路間へのアクセス強化による札幌駅交流拠点の機能強化・拡充
- ◎札幌の玄関口にふさわしい顔となるパブリックスペースやサービス機能等の誘導
- ◎来街者等の回遊の起点として、周辺への波及性の高い歩行者の重層的ネットワークの形成

まちづくりの取組

広域交通結節点機能の強化

- 駅とまちが一体となったターミナル機能の拡張・強化
- 南口のデザインコードを踏襲した駅周辺の連続した景観形成

札幌の玄関口にふさわしい機能集積

- 札幌・北海道の都市PR拠点、観光・生活情報発信拠点の整備
- 国際水準・多言語対応の滞在機能、にぎわい機能の整備
- 企業誘致やビジネス交流機会を促進する窓口機能、コンベンション関連機能の整備
- 自立性の高い分散電源確保と、防災拠点機能の強化

多面的なネットワークの形成

- 周辺街区と連続する重層的な歩行者ネットワークの形成
- 都心の面的エネルギー利用の強化・拡大に資するエネルギー拠点の整備
- 環境首都・札幌を象徴し、創成東地区につながるみどりのネットワーク展開
- 空港（新千歳・丘珠）や道内国際観光都市（ニセコ等）との連携

③ 大通・創世交流拠点（都市文化創造拠点）における取組

S I L

【都市文化創造拠点】の役割

- 現在の『大通交流拠点』『創世交流拠点』の二つが備える機能・空間の相互波及効果を狙い、より象徴性を高めるための連鎖・連携を推進
- 交流拠点の連鎖性を、骨格軸である『はくぐみの軸』を中心として、その南北の街区を含め一体的に向上
- 骨格軸を中心とした連鎖性の発揮により、創成東地区への空間・機能の波及性を実現



まちづくりの展開指針

- ◎大通公園を中心とする官民のストック更新を通じた連続的なパブリックスペースの形成
- ◎時計台等観光・交流資源へのアクセス性、街並みの一体性を実現する土地利用転換の推進
- ◎都心東西市街地の連続性を高める民間開発の連鎖、ゲートとなる機能・空間の創造

まちづくりの取組

大通公園を基軸とした空間・機能の連鎖・連携

- 大通交流拠点から創成東までをつなぐ一体的・象徴的な景観形成
- 創成川公園と連携した水・緑と一体的な良質な空間形成
- 大通公園を基軸とするパブリックスペース、みどり、回遊空間等の連鎖・連携による一体的な軸空間の形成

札幌の都市文化を発信する拠点機能の形成

- 高次の札幌都心の文化芸術機能の整備
- 市民が日常的に利用できる文化機能の整備
- 創成東地区へのゲートとなるまとまったオープンスペース等の確保
- 道路空間の有効活用・民地との一体利用の促進検討

回遊・エネルギーのネットワークの創出

- 大通公園と連続した南北方向への景観形成、歩行者ネットワークの強化
- 大通・創成川のみどりの軸を中心とするみどりのネットワークの形成
- 都市開発を通じたエネルギーの面的利用の展開

4. 骨格軸・拠点・ターゲットエリアにおける取組

4-3. ターゲットエリアにおける取組

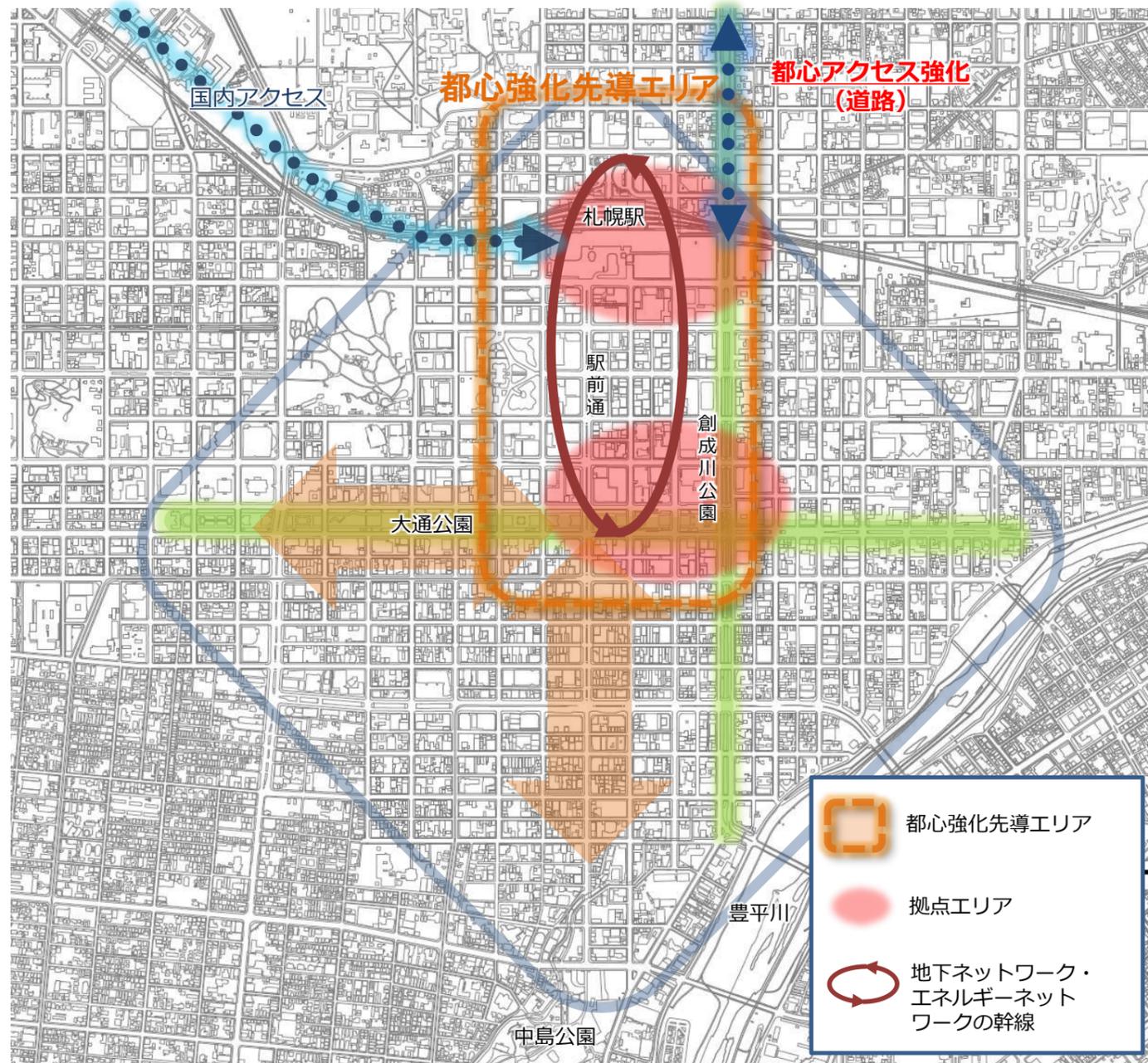
4-3-1. 都心強化先導エリア

～国内外に札幌の活力・魅力を象徴的に発信するための機能と空間の高質化と強靱化～



まちづくりの展開指針

- ◎グリーン・強靱な札幌都心のブランド構築
- ◎札幌の経済をけん引するビジネスクラスター創造
- ◎市民の日常の豊かな時間消費と滞留を支える都心の実現



まちづくりの取組

国内外から
人・情報・投資を呼び込み
産業を育成する
高度機能集積

- 札幌の経済力の底上げに主眼に置き、居住機能の誘導による土地利用転換に依らず、特に業務機能の高次化を集中的に展開
- 国内外の企業誘致の受け皿となるハイスペックオフィスの整備促進
- 多様な企業の立地・成長産業の創造を支えるスタートアップオフィスの整備
- 外国企業が安心して立地出来る国際対応の生活支援施設、生活情報提供
- 多様な階層、需要を受け入れる宿泊滞在施設の強化
- 国際対応の観光情報、都市PR（都市戦略・流動的に活用される）施設の強化
- 大規模MICEの開催を支える拠点施設（ホール等）の整備
- 都心と高速道路間のアクセス強化
- 北海道新幹線の早期札幌開業に向けた、北海道や鉄道・運輸機構との連携による建設事業の円滑な推進

地理的優位性×
IT利便性-多重化によるBCD※の
形成

- 自然災害リスクの低い立地特性を活かし、企業誘致に資するハイスペックビジネス環境整備
 - 拠点開発や公共用地を活用した自立分散型電源の確保
 - 地域ネットワークによる災害時の安定した電力供給システムの構築
 - 多くの来街者が訪れる中心部における災害時マネジメント体制の構築
- ※(Business Continuity district)

世界水準のグ
リーンビル化の
推進

- LEED認証等と支援策を組み合わせた更新時のグリーンビル化の誘導
- 積雪寒冷地の地場のノウハウを活かしたグリーンビル化技術の開発
- グリーンビル化を促進する都市計画・再開発と連動した支援・緩和策の敷設
- 省エネ診断等による改修促進、継続的モニタリングシステムの構築によるエネルギーの見える化

スマートエネ
ルギーネット
ワークの形成

- 大規模開発や更新時の機会を捉えたCGS整備による災害に強い分散電源確保と自営線整備等による災害時の電力ネットワークの構築
- 熱・電力エネルギーネットワークの幹線整備と沿道建物の接続誘導による需要密度（スケールメリット）の向上
- DHCエリアの拡大による積雪寒冷地におけるエネルギー負荷の低減
- 自然エネルギー等、多様な再生可能エネルギーの積極活用
- 総合エネルギー事業等の最適なエネルギーマネジメントへ向けた体制構築

4. 骨格軸・拠点・ターゲットエリアにおける取組

4-3-2. 大通公園西周辺エリア ~既存ストックを活かした、新たな都心の価値・魅力づくりに資するまちづくりの展開~



まちづくりの展開指針

- ◎都心型MICEの促進に資する機能の強化
- ◎文化芸術・歴史資源の都市観光等への活用

まちづくりの取組

交流機能強化

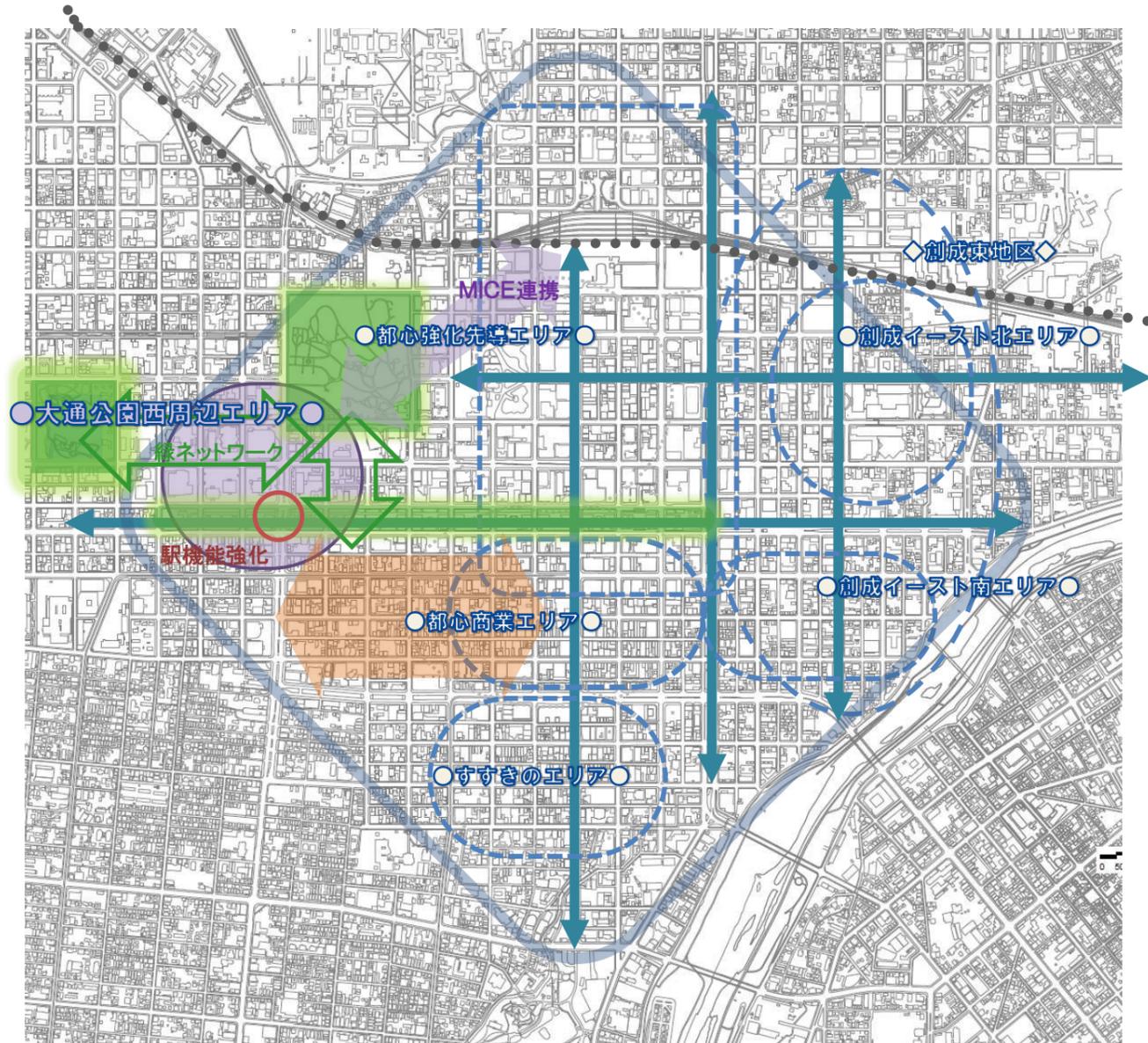
- 大規模会議施設やホテル等の集積を活かし、札幌駅などの都心MICE施設との連携
- 美術館や資料館の資産などを活用したユニークメニューの展開
- 大通やすすきのエリアの間にある個性的な商業エリアの連続による、札幌ならではの歩きながら楽しめるアフターMICE環境の強化

西11丁目駅機能強化

- 大規模MICEにも対応した駅のバリアフリー化、駅周辺の滞留空間の整備
- 駅やMICE関連施設におけるバス発着スペースの確保
- 市電や自転車が利用しやすい案内表示等の整備

緑と歩行者のネットワーク

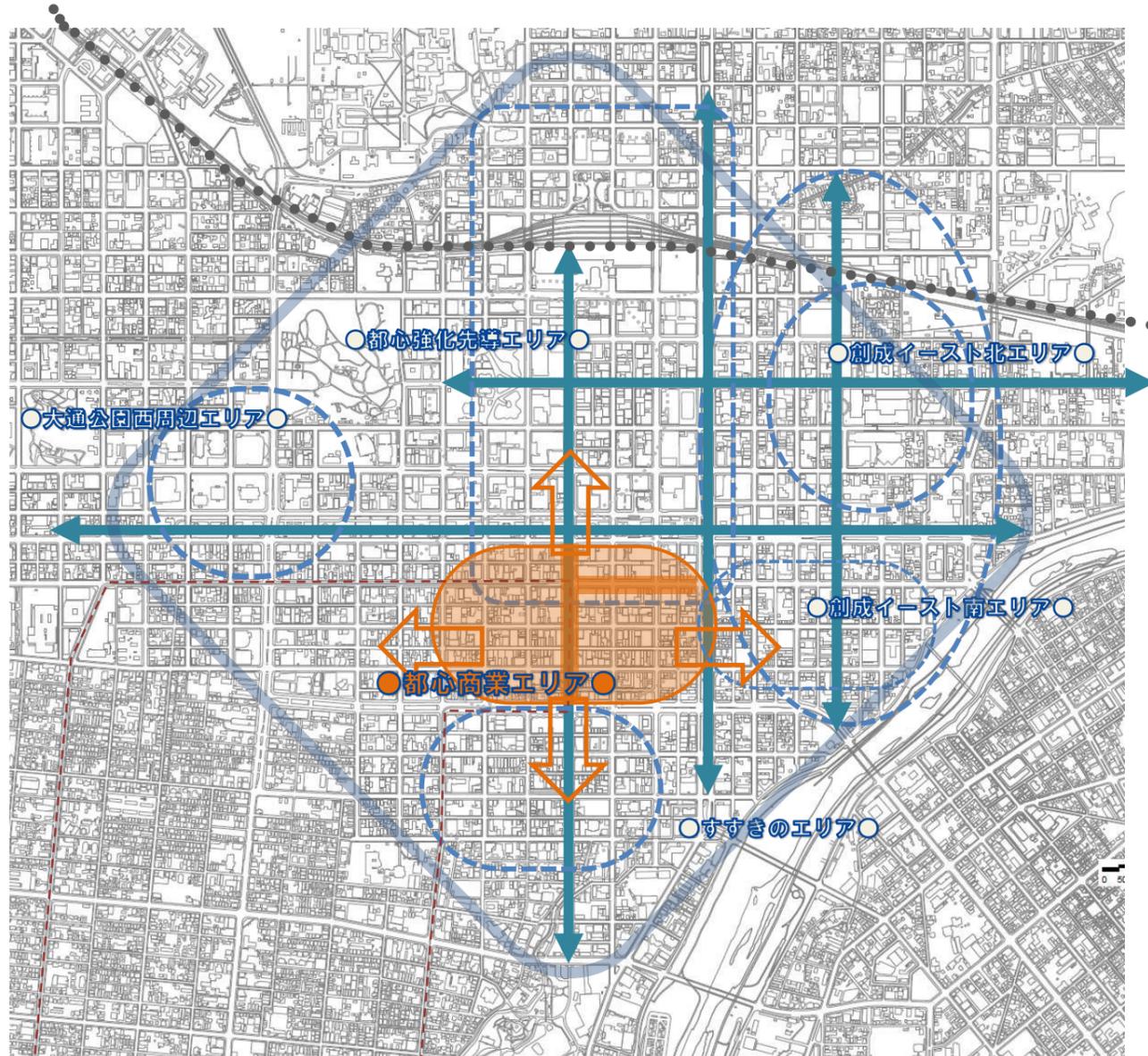
- 植物園や大通公園、知事公館などの拠点・軸となる緑を繋ぎ、潤いのある街路空間を整備
- 敷地内にもポケットパークなどを整備し、交流・文化・教育エリアに相応しいゆとりと潤いのある環境整備



4-3-3. 都心商業エリア ~都心中心商業地における憩いとにぎわいの再生~

まちづくりの展開指針

- ◎ストリートの個性化や遺産の活用による魅力の創出
- ◎安全安心・快適な移動環境の実現と公共・共用空間の充実
- ◎来街者・観光客を惹きつけるデザインとおもてなしの充実



まちづくりの取組

ストリートの個性化と遺産の活用

- インターネット通販や、他地域店舗にはない魅力で来街者やテナントを惹きつける、特徴的な店舗構成と街並みをストリート毎に創造
- エリアに新たな刺激と魅力を生み出す、集客・収益の新しい核となる旗艦店（フラッグシップ）の実現
- 蓄積する有形（建築物等）や無形（顧客や地域の繋がり等）の遺産を活用した、新・旧が混在した魅力づくり

移動環境の向上と公共・共用空間の充実

- 街のルール策定や具体的取組による、安全安心に街を歩ける環境の整備
- 歩行者・自転車・自動車・地下鉄・バス・路面電車など様々な交通手段のルールを守った活用等による、快適に移動できる街の実現
- 来街者に対して豊かな時間を提供する、公共・共用の空間（街のリビング）の充実

街のデザインとおもてなしの充実

- 街への愛着と誇りを生み出す街並み・サイン・植栽などのデザインの創造
- エリアの魅力を掘り起し、磨き、発信する、攻めのプロモーションの推進と、外国人や子連れ世帯への心のこもったおもてなしの提供

4. 骨格軸・拠点・ターゲットエリアにおける取組

4-3-4. 創成東地区(創成イースト北エリア・創成イースト南エリア) ~人を中心としたコンパクトな都心づくりを支える複合型市街地の形成とエリアマネジメントの展開~

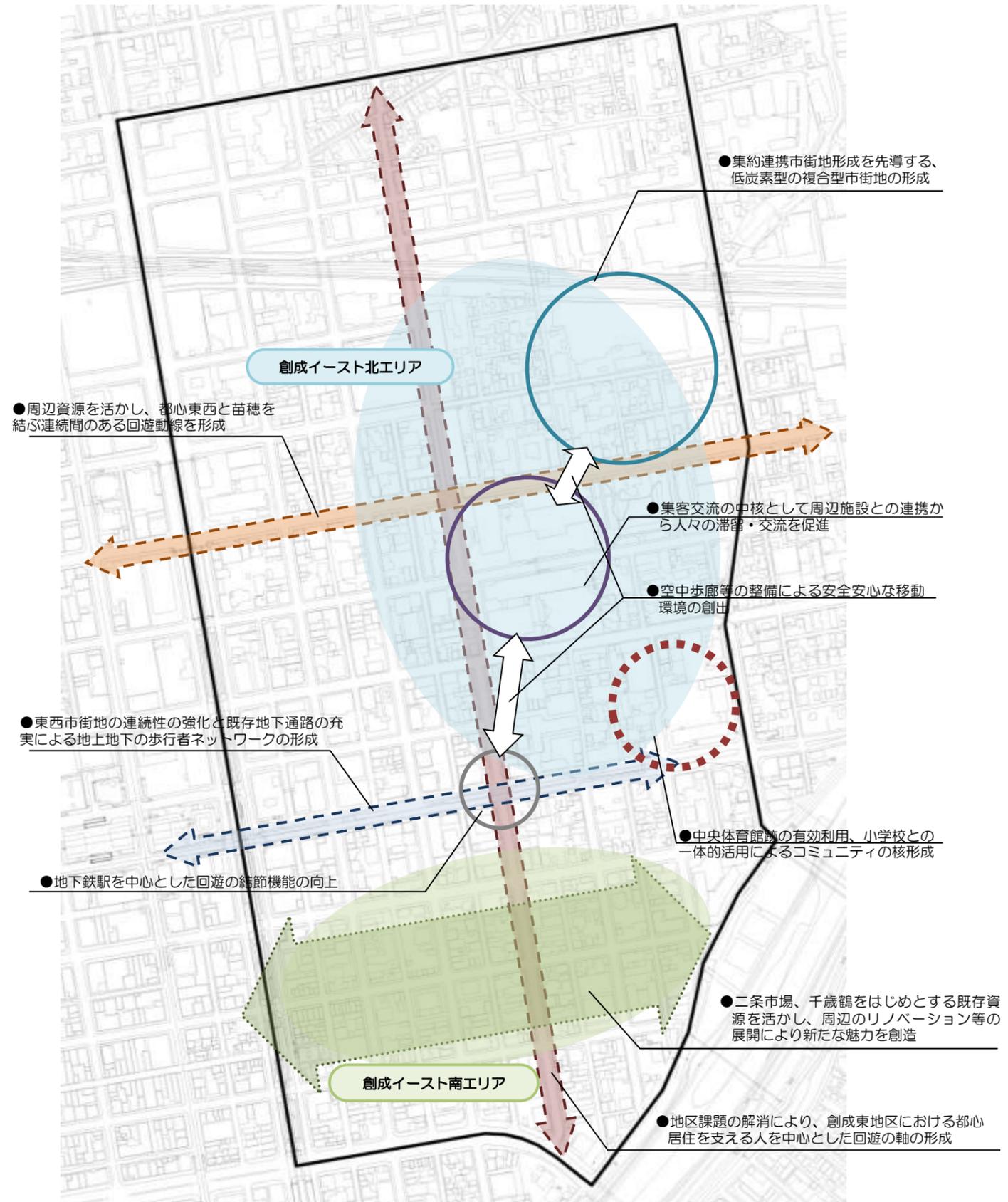


まちづくりの展開指針

- ◎集約連携都市のモデルとなるコンパクトで歩いて暮らせる人を中心としたまちづくりを支える基盤の強化
- ◎環境共生型市街地のモデルとなるエネルギーネットワークの形成と段階的拡充
- ◎都心居住の場にふさわしい交流を生み出す公共空間等の形成、既存ストックの活用促進
- ◎エリアマネジメントの活動を通じた歴史資源、産業史資源等の付加価値の向上と活用促進
- ◎国内外の来街者が地区の魅力を感じることができるホスピタリティの充実したまちづくりの展開

まちづくりの取組

| | | |
|------------|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 創成イースト北エリア | 連鎖・連携の創造・波及 | <ul style="list-style-type: none"> ●民間再開発、既存施設、交通拠点等との連携により地区を縦断する立体的な歩行者ネットワークの形成を図り、都心居住の受け皿となる創成東地区における通年の安全安心な回遊環境を実現 ●回遊環境の形成により、都心における多機能を徒歩圏で享受できるコンパクトな市街地形成のモデルとなる取組を推進 ●民間開発を通じたエネルギーネットワークの形成を推進し、都市再生に掲げる環境共生型の複合市街地の形成を実現 |
| | 骨格軸の形成・強化 | <ul style="list-style-type: none"> ●地区課題の解消等を主眼に置き、創成東地区の背骨となる東四丁目通における暮らしの中心軸としての道路空間の形成 ●電柱地中化を機に、都心東西、苗穂をつなぐ軸としての機能・空間を強化するとともに、札幌開拓の歴史を象徴する都市軸としての景観形成を促進 ●東西市街地の連続性の強化と既存の地下空間の活用により、創成東と都心結ぶ地上地下の重層的なネットワークを強化 |
| 創成イースト南エリア | 暮らしを支える基盤強化 | <ul style="list-style-type: none"> ●公共施設整備等を通じた一時避難機能、収容拠点の形成など地区の防災性の向上による安全・安心な都心居住の場づくりの推進 ●中央体育館跡地の活用によるコミュニティの絆づくりの場の創造 |
| | 資源活用を視点としたマネジメントの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●二条市場、千歳鶴等、創成東の重要な歴史を物語る資源との連携、地域住民との連携を図り、ものづくりの文化・暮らしの豊かさを実感できる活動を展開するなど、地区にある資源を最大限活用したエリアマネジメント活動を推進 ●既存の観光資源を中心に、国内外からの来街者を受け入れるホスピタリティのあるまちづくりの推進 |
| | ストック活用の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ●地区の数少ないパブリックスペースである公園をはじめとする公共施設や神社などをまちづくりにおける活動空間・交流の場として活用し、地区の新たなにぎわい・活力を創造 ●リノベーションによる老朽ストックの暫定活用等、地区の既存の街並みを活かしつつ、創成東地区ならではの新たなチャレンジ・場づくりを推進 |



4-3-5. すすきのエリア ~観光・市民生活を充実させる歓楽街づくり~

まちづくりの展開指針

- ◎安全安心な歓楽街づくりの促進
- ◎周辺の自然資源とのつながりを感じる水と緑の回遊ネットワークの充実

まちづくりの取組

すすきのエリアの方向性検討

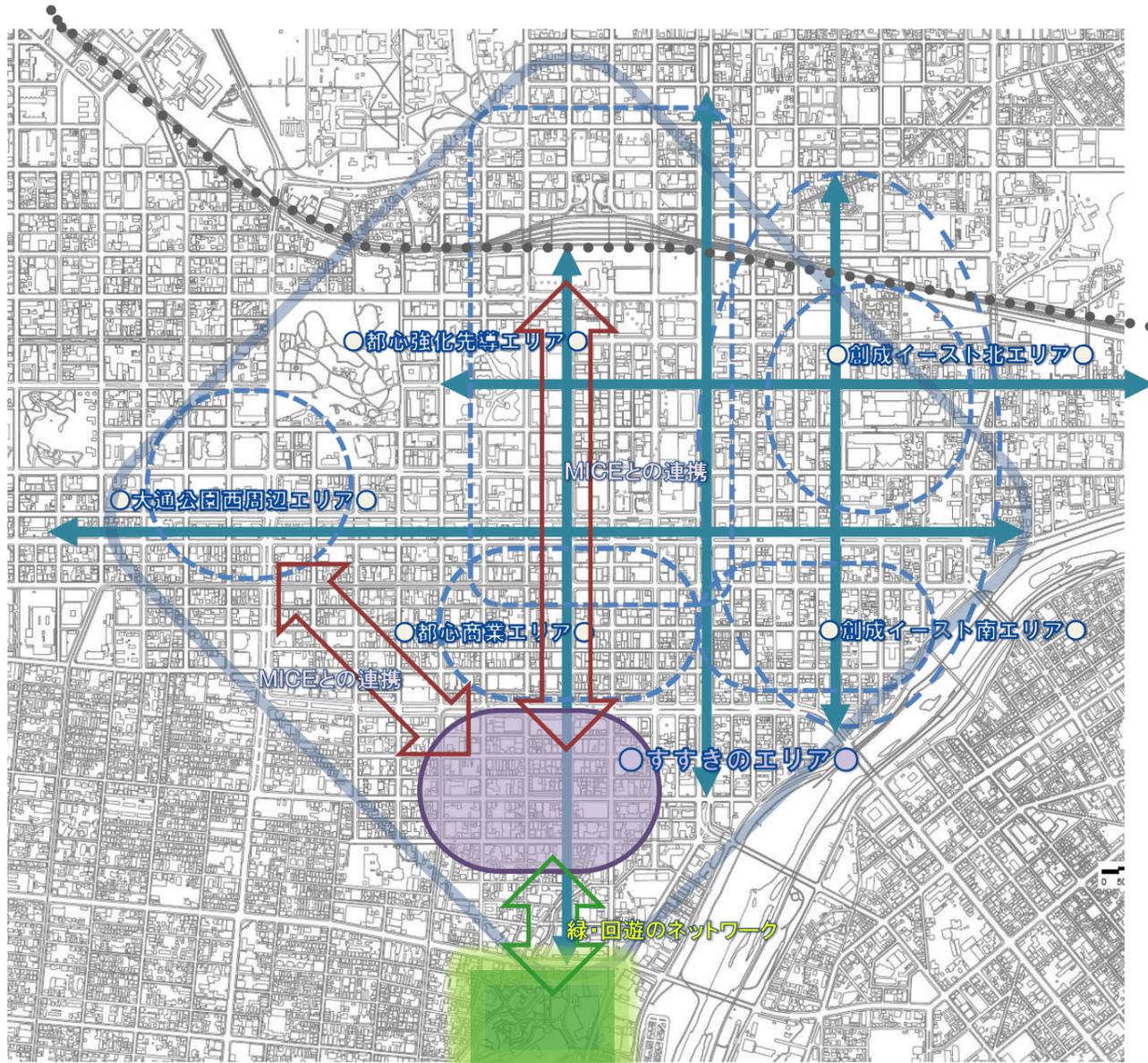
- 既存組織を中心としたエリア全体の方向性の検討
- まちづくり推進のための組織づくりとアクションプランの検討

安心感と魅力の向上

- 公共空間の安全対策や環境浄化活動による安全で安心なまちづくりの推進
- 夜間観光の魅力を高めるための魅力的な空間整備についての検討

資源活用と周辺との連携・連鎖

- 鴨々川等、エリア内の豊かな空間形成を支える資源のまちづくりへの活用
- 近隣の中島公園との連続性
- KITARA等、近隣の文化資源とのつながりを高め、施設利用者の地区への流入を促進



5. 都心全域における取組

5-1. 歩行者優先の交通環境形成

～世界・国内からのアクセス性の強化とコンパクトで安全な歩きやすい環境の整備～

現状と課題

- ・自転車の走行空間及び駐輪場の不足による歩行環境の阻害
- ・札幌駅、大通駅周辺における上下移動のバリア
- ・都心と高速道路間のアクセス機能が脆弱
- ・駐車場出入口による歩道や街並みの分断
- ・インバウンド観光等による都心に流入する観光バスの増加

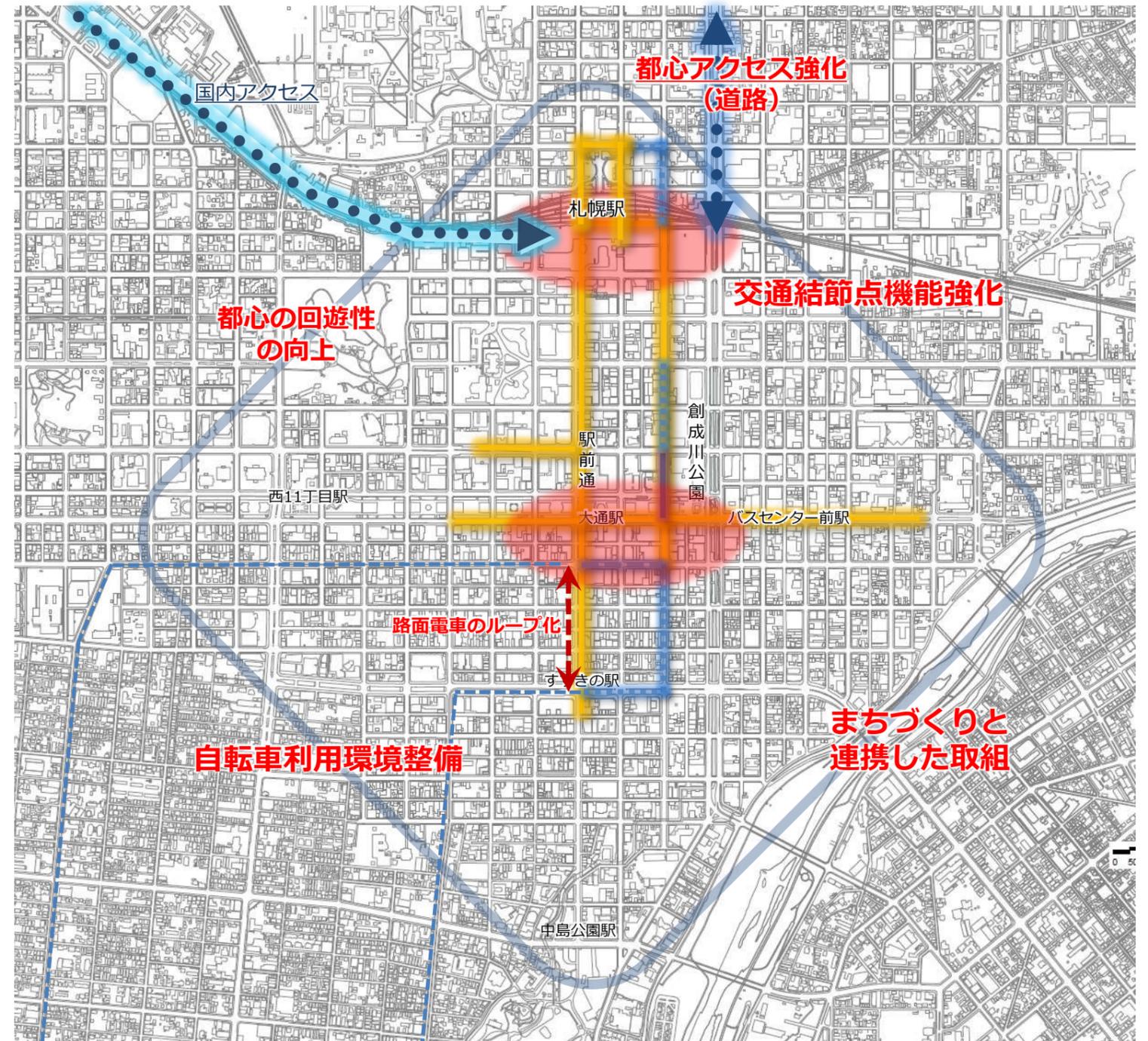
歩きたくなるまちの実現 ～回遊性の向上～

- まちづくりと連携した歩行者ネットワーク、公共交通、自転車、駐車場、荷捌き等の一体的な方向性の検討や社会実験による検証
- 過度な駐車場整備を誘発しないための駐車場の集約化や既存施設の有効活用
- 自転車のルール・マナーの浸透と走行空間ネットワークの形成や駐輪場整備による自転車利用の適正化
- 地下歩行ネットワークの拡充や民間施設による公共的な歩行機能の確保等による積雪寒冷地にふさわしい地上地下の重層的な回遊ネットワークの形成



アクセスしやすいまちの実現 ～公共交通の利便性向上と広域ネットワークの充実～

- 札幌駅交流拠点における交通結節点機能の強化
- 都心と高速道路間のアクセス強化
- 歩行者動線の改善やバリアフリー化等による乗継施設の機能強化
- 交通結節点や公共交通における情報提供の高度化、分かりやすさの向上
- 路面電車の利便性向上や公共交通利用に向けた市民意識の醸成
- 観光バスの乗降場や待機場の確保と運用の適正化



- 地下歩行ネットワーク(既存)
- 地下歩行ネットワーク(新規)
- 地下歩行ネットワーク(検討継続)

5. 都心全域における取組

5-2. 低炭素市街地の形成と自然環境共生

～都心全体のエネルギー利用の効率化、多様化、安定化の実現と、豊かな自然との共生の実現～

現状と課題

- ・既存ビル平均の一次エネルギー消費量は新築ビルより30%高い
- ・分散電源導入割合は7%
- ・都心の地域熱供給割合（件数）22%

世界水準のグリーンビル化の推進

- LEED認証等と支援策を組み合わせた更新時のグリーンビル化の誘導
- 積雪寒冷地の地場のノウハウを活かしたグリーンビル化技術の開発
- グリーンビル化を促進する都市計画・再開発と連動した支援・緩和策の敷設
- 省エネ診断等による改修促進、継続的モニタリングシステムの構築によるエネルギーの見える化

リノベーション・ストック活用の促進

- 資源有効活用による環境負荷低減
- 環境性能の高いモデル住宅街区の検討

スマートエネルギーネットワークの形成

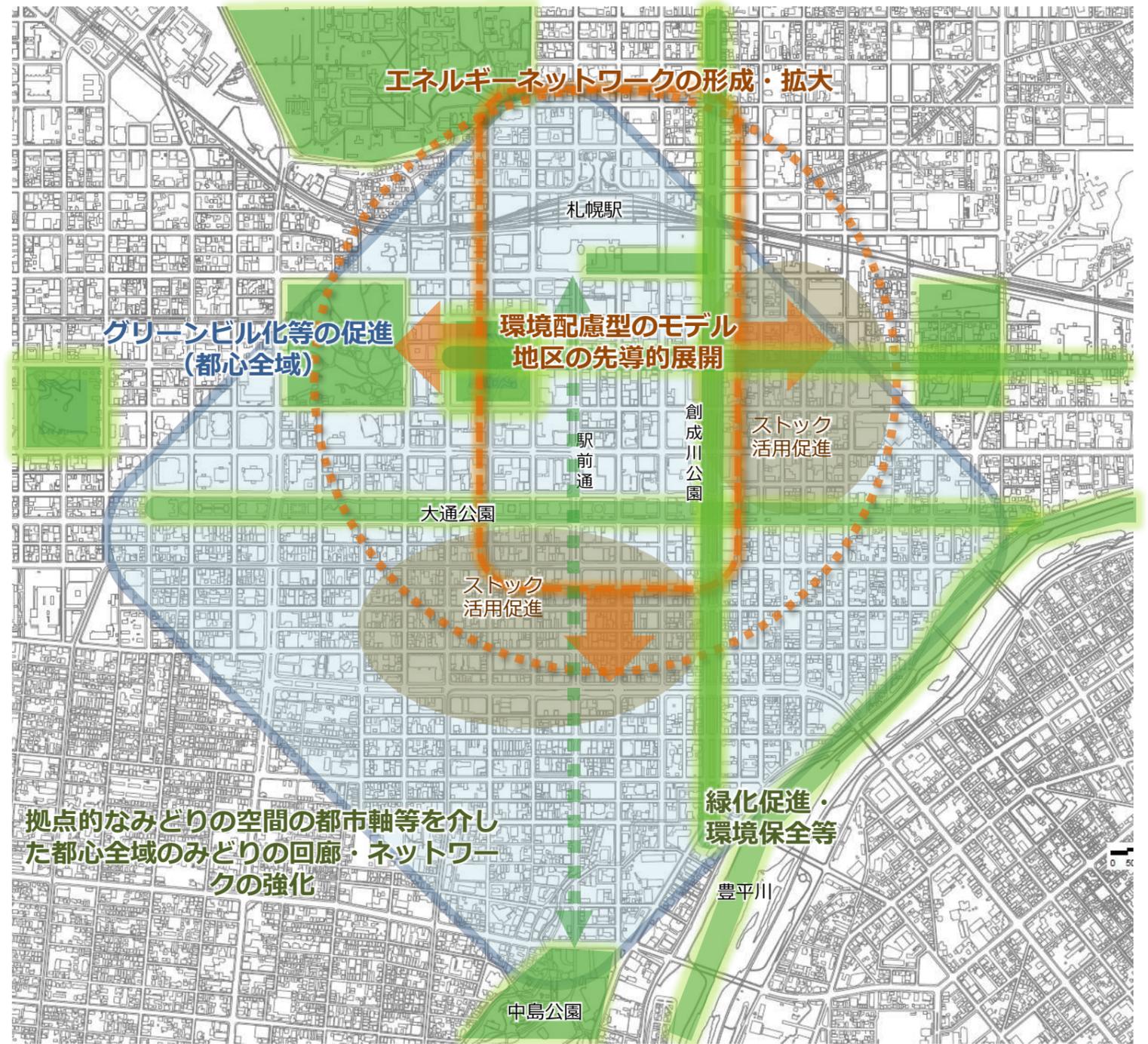
- 大規模開発や更新の機会を捉えたコージェネレーションシステムの整備による災害に強い分散電源確保と自営線整備等による災害時の電力ネットワークの構築
- 熱エネルギーネットワークの幹線整備と沿道建物の接続誘導による需要密度（スケールメリット）の向上
- 地域熱供給エリアの拡大による積雪寒冷地のエネルギー負荷の低減
- 自然エネルギー等、多様な再生可能エネルギーの積極活用
- 総合エネルギー事業等の最適なエネルギーマネジメントへ向けた体制構築
- 東西市街地における熱融通ネットワークの構築

例) 駅前通軸の空間形成イメージ
・地上・地下の快適な歩行者空間の連続とエネルギー連携の誘導



北海道・札幌を象徴する自然環境の表出と緑化促進・保全

- 北海道らしく、環境首都札幌を象徴する自然を感じる札幌の玄関口におけるシンボリックな緑化
- 大通を中心に豊平川や中島公園、創成川を繋ぐ都心のみどりのネットワークの形成
- 官民連携による豊かなみどりを備えた公共空間の創出と連鎖



5. 都心全域における取組

5-3. 持続的な都心発展の仕組みづくり

～まちの魅力と活力の向上を先導する都心の包括的マネジメント体制と持続的な推進事業の構築～

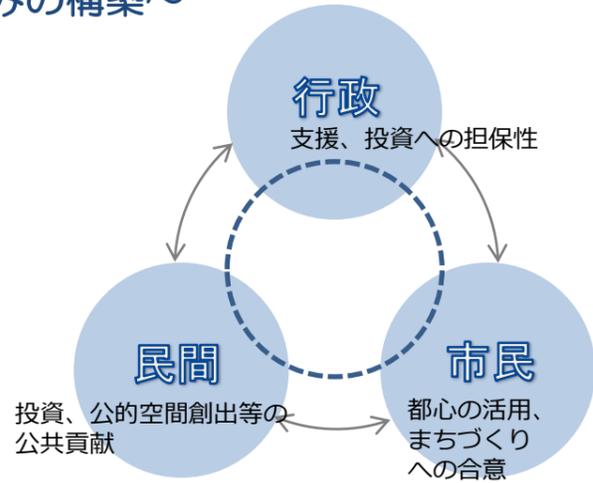


現状と課題

- ・まちづくり会社の設立と主に公共空間を活用したイベント事業等の展開
- ・創成東地区における地域主体のまちづくり活動の実験的展開、まちづくり組織化に向けた機運の高まり
- ・特区を活用した公共空間の先進的な活用
- ・札幌・都心の魅力を対外的に発信する強力なシティプロモート体制の欠如
- ・エリア別の取組の波及効果、相乗効果による都心の活力創造を目指したエリア間の連携強化の必要性

～都心における持続的官民連携の仕組みの構築～

- ・国内外からの企業誘致に資する情報発信・プロモーション等、係る民間のノウハウの導入等、官民連携によるシティセールスの展開
- ・都心まちづくりにおける民間投資の誘発・促進に資するインセンティブの明確化、規制緩和やプロジェクトの確実性の担保等の支援スキーム構築
- ・エリア形成に係る方針・ガイドライン等の共有化と、それに基づく公共貢献の推進・連鎖の仕組みづくり
- ・エリア横断的に、都心に係るプロジェクト連携を促進するコーディネーターとなる体制・仕組みの構築



エリア間のマネジメント連携の促進

- 都心主要エリアにおけるまちづくり会社等の活動主体を中心とした都心の公共空間の利用・都心域における連携・連鎖の展開を通じたエリアの個性強化と都心全体の魅力の向上
- 都心におけるストック更新、リノベーション等の取組を通じて新たな雇用・企業環境を創出

エリアごとのマネジメントの強化・促進・育成

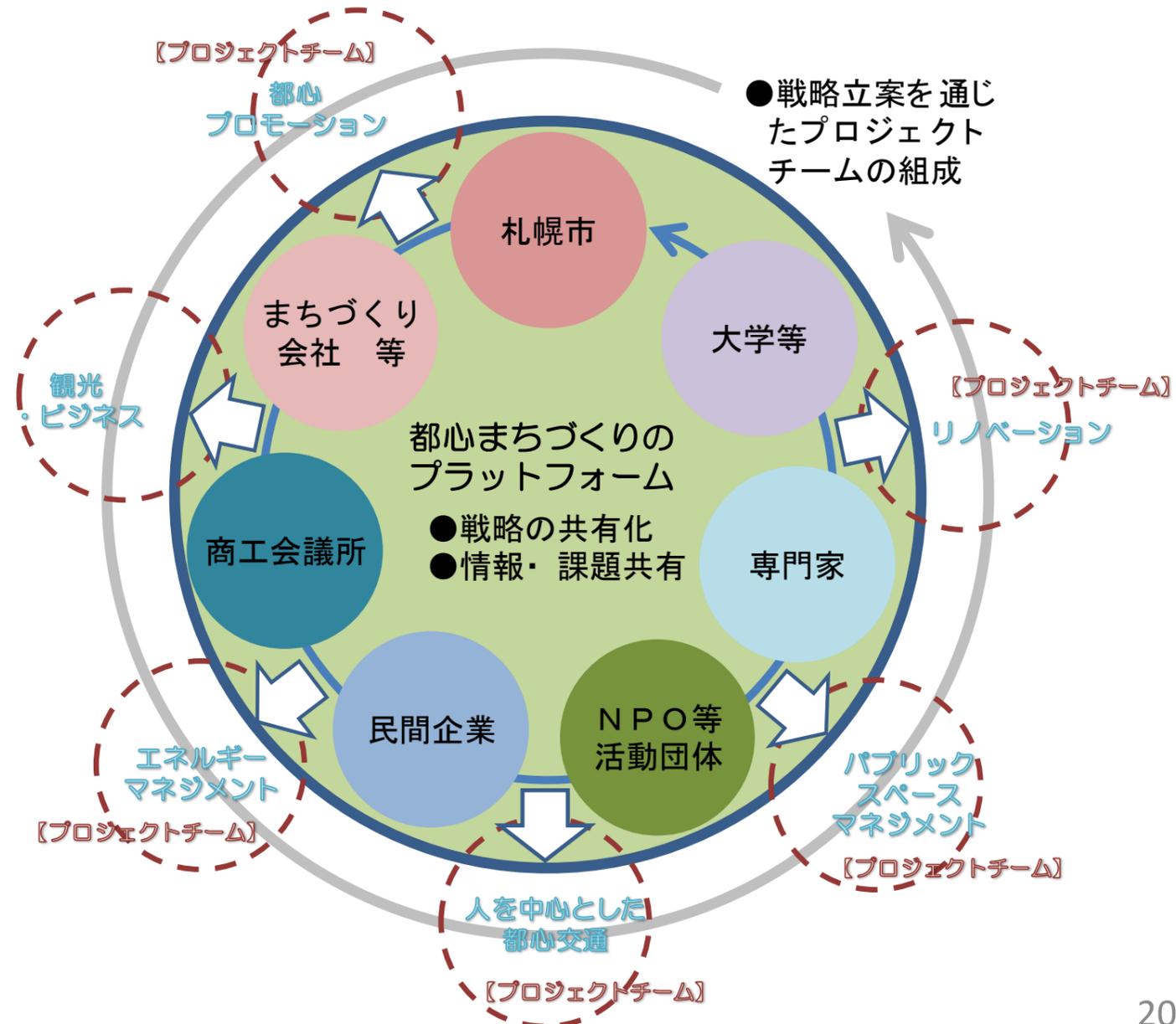
- 大通まちづくり会社、札幌駅前通まちづくり会社の取組の実績、すすきのにおける防犯や活性化の取組を踏まえ、それぞれのエリア特性、公共空間をはじめとするストックの個性を伸ばし、高めるエリアマネジメント活動を促進
- 創成東地区における地域発意のまちづくり活動の支援を通じて、地区一体的なまちづくりの担い手となる仕組みづくりを支援
- その他、エリアごとのまちづくり機運の高まりに応じて、各地区の特性に応じたエリアマネジメントの展開

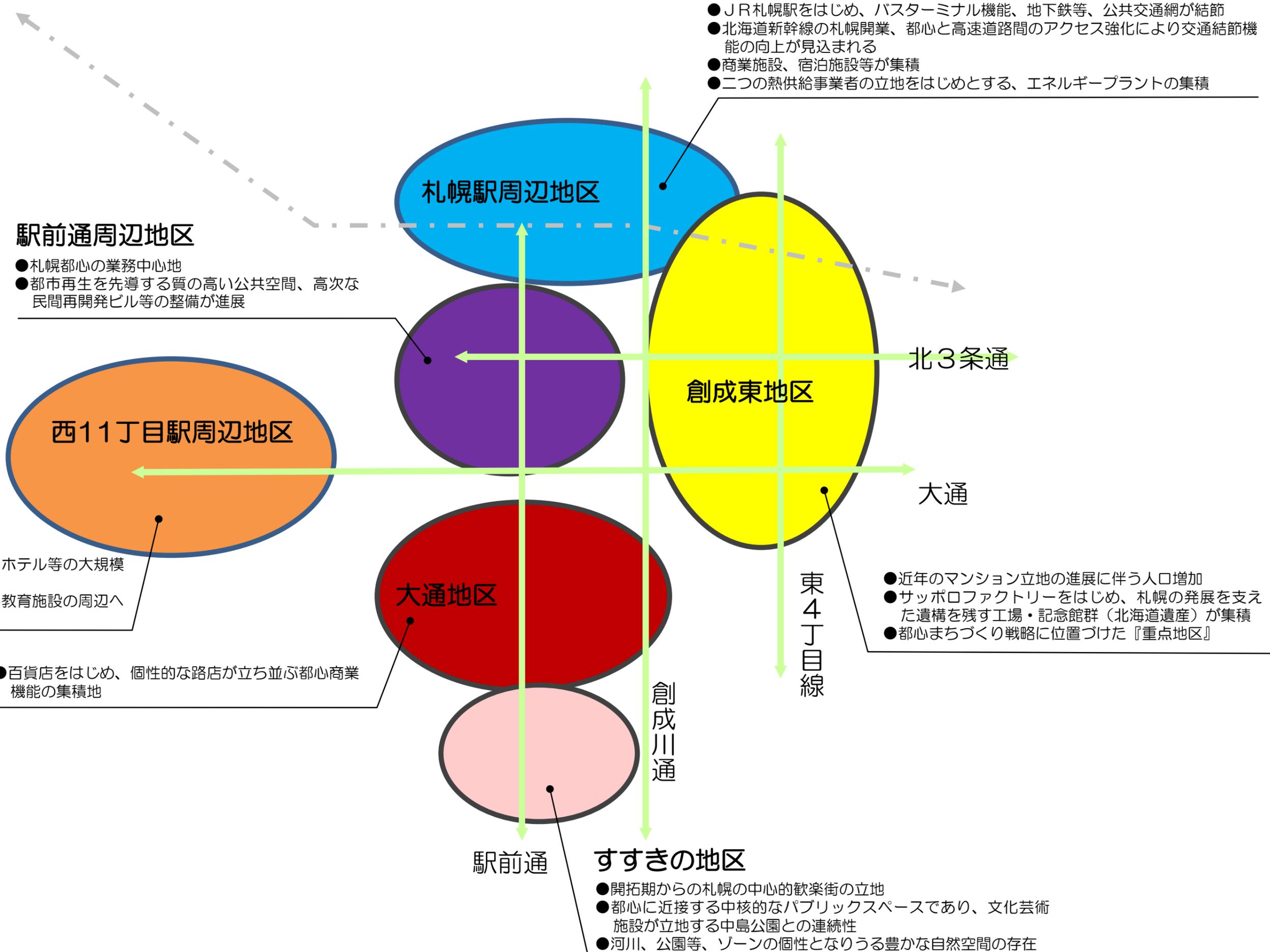
まちづくりの展開指針

- ◎4つの基本方針の展開に資する都心の一体的なマネジメントの推進～
 - Sustainability：環境配慮型の市街地形成を目指す、スマートシティマネジメント
 - Livable：公共空間の積極的活用や居住・就業環境の充実を目指す、エリア魅力アップマネジメント
 - Innovation：国内外からの来街者誘致・MICE環境の強化等、世界に発信する国際戦略マネジメント
 - Economy・Employment：国内外からの企業立地推進等、投資喚起と新たな起業・創業に資するシティプロモートマネジメント

都心まちづくりのプラットフォームの組成とプロジェクトの発掘

- 都心まちづくりの理念・目標・取組の方向性の共有化とまちづくりの進捗・課題に係る関係主体間での情報共有・検討の推進
- 都心まちづくりの目標・基本方針の展開に資する知識・スキル・ストックを有する産学官、各エリアの主要主体の連携による成長戦略の立案・共有化
- 事業化に際して必要となる主体・人材を核とした個別プロジェクトの展開





世界

居住



- 世界唯一の積雪寒冷200万都市
- 大都市でありながら、身近な自然と共生したライフスタイル・ワークスタイルを享受

環境



- 北国の変化に富んだ四季
- 北海道らしい身近な自然環境

観光

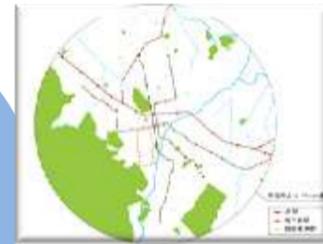
| | |
|---|---------------------------|
| 1 | ハバナ/キューバ |
| 2 | ラ・フォルトゥーナ・デ・リン・カルロス/コスタリカ |
| 3 | カトマンズ/ネパール連邦民主共和国 |
| 4 | エルサレム/イスラエル |
| 5 | クスコ/ペルー |
| 6 | アンバーグリス・キー/ペリズ |
| 7 | 札幌市/日本 |

トリップアドバイザー「トラベラーズ チョイス人気上昇中の観光都市 2013」より

- 北海道観光の結節点となる中核都市
- 都市近傍の観光・レジャー
- 北海道の魅力を集約した食文化

日本

コンパクト



- 10km圏内に都市機能・人口が集積するコンパクトな計画都市
- 交通ネットワークの充実、ウォークラブルな市街地

ビジネス



- 低い災害リスク
- 低廉なビジネスコスト

北海道

道都 さっぽろ



- 道都さっぽろの求心力(人口・産業・文化・教育)
- 国内外とつながる高次な交通結節機能

活力



- 北海道経済をけん引する高次業務機能の集積

機運



- 北海道新幹線の整備
- 冬季オリンピック招致活動

札幌

まちづくり



- 都心まちづくり計画に基づく骨格軸、交流拠点の概成
- 都市再生プロジェクトの具体化
- 大通まちづくり会社、駅前通まちづくり会社による活性化事業の展開

強靱化の布石



- 駅前地下歩行空間の整備による都心回遊・交流環境の強化
- 都市開発等と連動した都心部のエネルギーネットワークの拡充・強化

暮らし



- 都心部、並びに都心周辺部への人口流入
- 市民活動の受け皿となるパブリックスペース等の充実